令和３年度

西海市各会計歳入歳出決算及び
基 金 運 用 状 況 審 査 意 見 書

西 海 市 監 査 委 員

写

4西海監第17号
令和4年8月23日

西海市長　杉澤　泰彦　様

西海市監査委員　井田　利定
西海市監査委員　杉山　誠治

西海市監査委員印

令和3年度西海市各会計決算及び基金運用状況の審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第241条第5項の規定により審査に付された令和3年度西海市各会計決算及び基金運用状況の審査を行ったので、その意見書を送付します。

目　　次

１．審査の対象 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
２．審査の期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
３．審査の方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
４．審査の結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

決算総括 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
決算額の推移・財政力指数等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

一般会計

１．決算の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(1) 決算規模
２．歳入について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(1) 歳入決算の概要
(2) 財源別歳入状況
(3) 款別歳入状況
３．歳出について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
(1) 歳出決算の概要
(2) 性質別歳出状況
(3) 款別歳出状況

特別会計

国民健康保険特別会計（事業勘定）
１．決算の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
(1) 歳入
(2) 歳出

国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）
１．決算の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
(1) 歳入
(2) 歳出

後期高齢者医療特別会計
１．決算の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
(1) 歳入
(2) 歳出

交通船特別会計
１．決算の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
(1) 歳入
(2) 歳出

介護保険特別会計（保険事業勘定）
１．決算の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
(1) 歳入
(2) 歳出

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）
１．決算の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
(1) 歳入
(2) 歳出

工業団地整備事業特別会計
１．決算の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
(1) 歳入
(2) 歳出

財産に関する調書
一般会計　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
特別会計　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58

む　す　び　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60

※この決算審査意見書中の構成比率の数値は、四捨五入しているため、内訳の合計が 100%にならない場合がある。

令和３年度西海市各会計歳入歳出決算審査意見書

１．審査の対象

令和３年度西海市一般会計歳入歳出決算

令和３年度西海市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

令和３年度西海市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

令和３年度西海市交通船特別会計歳入歳出決算

令和３年度西海市介護保険特別会計歳入歳出決算

令和３年度西海市工業団地整備事業特別会計歳入歳出決算

２．審査の期間

令和４年７月１２日から８月３日まで

３．審査の方法

各会計の決算審査にあたっては、予算が適正かつ効率的に執行されているか、財政運営は健全か、自主財源は確保できているか等に加え、各課主要事業の事務が適正であるかに主眼を置き、送付を受けた各会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、その他付属資料について、関係諸帳簿と照合すると共に関係者からの説明聴取等、通常実施すべき審査手続きを実施した。

４．審査の結果

審査に付された令和３年度各会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、法令に準拠して作成されており、決算計数は関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、各基金の運用状況を示す書類の係数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており、誤りのないものと認められた。

決　算　総　括

令和３年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算額並びに執行状況については、図表１から図表３のとおりである。

図表１　令和３年度歳入歳出決算額　（単位：円・％）

会計別		予算現額	決算額		差引残額	執行率	
			収入済額	支出済額		収入	支出
一般会計		27,866,208,000	26,157,433,407	24,706,421,236	1,451,012,171	93.9	88.7
特別会計	国保（事業）	3,945,110,000	3,763,623,831	3,689,125,345	74,498,486	95.4	93.5
	国保（直診）	189,089,000	168,965,021	152,872,442	16,092,579	89.4	80.8
	後期高齢者医療	387,069,000	381,706,465	378,100,430	3,606,035	98.6	97.7
	交通船	134,648,000	135,115,715	128,940,374	6,175,341	100.4	95.8
	介護保険(事業)	3,699,921,000	3,689,408,184	3,587,352,342	102,055,842	99.7	97.0
	介護保険(ｻｰﾋﾞｽ)	20,356,000	21,147,200	19,001,672	2,145,528	103.9	93.4
	工業団地整備	633,784,000	513,784,123	463,560,418	50,223,705	81.1	73.1
	小　計	9,009,977,000	8,673,750,539	8,418,953,023	254,797,516	96.3	93.4
合　計		36,876,185,000	34,831,183,946	33,125,374,259	1,705,809,687	94.5	89.8

図表２　執行状況（歳入）　（単位：円・％）

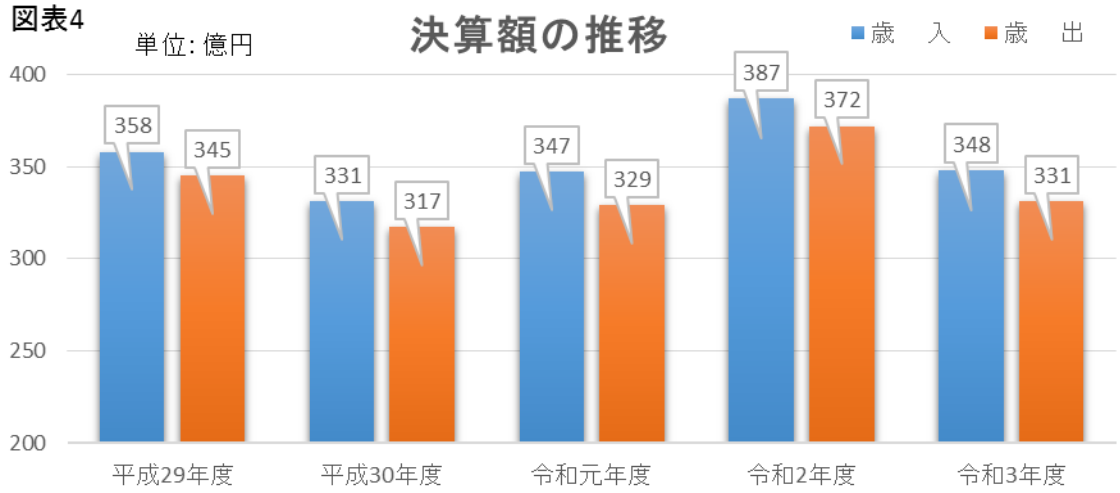
会計別		予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
一般会計		27,866,208,000	26,358,918,826	26,157,433,407	6,105,093	195,380,326	99.2
特別会計	国保（事業）	3,945,110,000	3,834,307,558	3,763,623,831	5,649,910	65,033,817	98.2
	国保（直診）	189,089,000	168,965,021	168,965,021	0	0	100.0
	後期高齢者医療	387,069,000	381,655,078	381,706,465	0	△ 51,387	100.0
	交通船	134,648,000	135,115,715	135,115,715	0	0	100.0
	介護保険(事業)	3,699,921,000	3,694,119,384	3,689,408,184	641,575	4,069,625	99.9
	介護保険(ｻｰﾋﾞｽ)	20,356,000	21,147,200	21,147,200	0	0	100.0
	工業団地整備	633,784,000	513,784,123	513,784,123	0	0	100.0
	小　計	9,009,977,000	8,749,094,079	8,673,750,539	6,291,485	69,052,055	99.1
合　計		36,876,185,000	35,108,012,905	34,831,183,946	12,396,578	264,432,381	99.2

図表３　執行状況（歳出）　（単位：円・％）

会計別		予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
一般会計		27,866,208,000	24,706,421,236	1,891,991,000	1,267,795,764	95.1
特別会計	国保（事業）	3,945,110,000	3,689,125,345	0	255,984,655	93.5
	国保（直診）	189,089,000	152,872,442	0	36,216,558	80.9
	後期高齢者医療	387,069,000	378,100,430	0	8,968,570	97.7
	交通船	134,648,000	128,940,374	0	5,707,626	95.8
	介護保険(事業)	3,699,921,000	3,587,352,342	0	112,568,658	97.0
	介護保険(ｻｰﾋﾞｽ)	20,356,000	19,001,672	0	1,354,328	93.4
	工業団地整備	633,784,000	463,560,418	170,222,000	1,582	100.0
	小　計	9,009,977,000	8,418,953,023	170,222,000	420,801,977	95.2
合　計		36,876,185,000	33,125,374,259	2,062,213,000	1,688,597,741	95.2

平成２９年度から令和３年度までの総計決算額は図表４のとおりである。

図表4



普通会計における財政力指数等は、図表５のとおりである

図表５　（決算統計による）　（単位：千円）

区　分	令和３年度	令和２年度
基準財政需要額	11,158,365	11,114,293
基準財政収入額	3,123,352	3,268,527
標準財政規模	12,390,597	12,424,616
財政力指数	0.29	0.29
経常収支比率	83.9%	83.6%
実質収支比率	9.54%	6.79%
実質公債費比率	△1.8%	△2.8%
公債費比率	－	－
債務負担行為を含む公債費比率	－	－
起債制限比率	－	－
基金現在高	16,431,927	15,748,550
地方債現在高	19,801,527	20,616,442
債務負担行為額（Ｒ３年度以降の支出予定額）	4,253,851	5,449,543

※基金現在高は、土地開発基金を除いた数値である。

一　般　会　計

一　般　会　計

１．決算の概要

（１）決算規模

令和３年度における決算は、歳入総額 26,157,433,407 円、歳出総額 24,706,421,236 円で、歳入歳出差引残額 1,451,012,171 円、翌年度へ繰越すべき財源 268,610,000 円を差引いた実質収支額は、1,182,402,171 円の黒字となっている。

２．歳入について

（１）歳入決算の概要

歳入決算額の状況及び前年度との比較は図表６のとおりである。

本年度における歳入決算の状況は、予算現額 27,866,208,000 円に対し収入済額 26,157,433,407 円で、執行率 93.9%、調定額 26,358,918,826 円に対する収入率は 99.2%である。不納欠損額 6,105,093 円を計上し、収入未済額 195,380,326 円となっている。

また、前年度との比較においては、歳入総額で 2,487,411,027 円（8.7%）の減少となっている。主なものでは寄附金、地方交付税、財産収入の増加、及び国庫支出金、諸収入、市債の減少が目立っている。

特に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特別給付金の財源とした国庫支出金の減少が大きい。

一般会計款別歳入

図表６

区分	令和 3年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②－③－④
市税	3,036,624,000	3,149,730,738	3,094,472,970	101.9	98.2	11.8	5,105,093	50,152,675
地方譲与税	230,309,000	230,309,388	230,309,388	100.0	100.0	0.9	0	0
利子割交付金	1,237,000	1,237,000	1,237,000	100.0	100.0	0.0	0	0
配当割交付金	9,311,000	9,311,000	9,311,000	100.0	100.0	0.0	0	0
株式等譲渡所得割交付金	11,726,000	11,726,000	11,726,000	100.0	100.0	0.0	0	0
法人事業税交付金	41,264,000	41,264,000	41,264,000	100.0	100.0	0.2	0	0
地方消費税交付金	648,993,000	648,993,000	648,993,000	100.0	100.0	2.5	0	0
ゴルフ場利用税交付金	28,346,000	28,346,850	28,346,850	100.0	100.0	0.1	0	0
環境性能割交付金	10,963,000	10,963,000	10,963,000	100.0	100.0	0.0	0	0
国有提供施設等所在市町村助成交付金	126,470,000	126,470,000	126,470,000	100.0	100.0	0.5	0	0
地方特例交付金	47,081,000	47,081,000	47,081,000	100.0	100.0	0.2	0	0
地方交付税	8,896,549,000	8,896,549,000	8,896,549,000	100.0	100.0	34.0	0	0
交通安全対策特別交付金	2,340,000	2,340,000	2,340,000	100.0	100.0	0.0	0	0
分担金及び負担金	66,291,000	85,801,898	70,360,217	106.1	82.0	0.3	0	15,441,681
使用料及び手数料	378,774,000	405,610,074	378,127,430	99.8	93.2	1.4	0	27,482,644
国庫支出金	5,010,417,000	4,409,028,179	4,409,028,179	88.0	100.0	16.9	0	0
県支出金	1,934,319,000	1,447,660,327	1,447,660,327	74.8	100.0	5.5	0	0
財産収入	280,673,000	371,533,784	292,954,568	104.4	78.9	1.1	0	78,579,216
寄附金	867,650,000	867,483,527	867,483,527	100.0	100.0	3.3	0	0
繰入金	1,975,332,000	1,974,738,376	1,974,738,376	100.0	100.0	7.5	0	0
繰越金	1,178,865,000	1,178,865,120	1,178,865,120	100.0	100.0	4.5	0	0
諸収入	166,274,000	317,976,565	293,252,455	176.4	92.2	1.1	1,000,000	23,724,110
市債	2,916,400,000	2,095,900,000	2,095,900,000	71.9	100.0	8.0	0	0
自動車取得税交付金								
合計	27,866,208,000	26,358,918,826	26,157,433,407	93.9	99.2	100.0	6,105,093	195,380,326

決算前年度比較表

（単位：円・％）

令和 2年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調 定 額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥－⑦－⑧	増　減 ③－⑦＝⑨	増減率 ⑨/⑦
3,086,028,000	3,210,072,318	3,147,587,608	102.0	98.1	11.0	3,115,957	59,368,753	△ 53,114,638	△ 1.7
228,563,000	228,563,833	228,563,833	100.0	100.0	0.8	0	0	1,745,555	0.8
1,512,000	1,512,000	1,512,000	100.0	100.0	0.0	0	0	△ 275,000	△ 18.2
5,407,000	5,407,000	5,407,000	100.0	100.0	0.0	0	0	3,904,000	72.2
6,916,000	6,916,000	6,916,000	100.0	100.0	0.0	0	0	4,810,000	69.5
49,769,000	49,769,000	49,769,000	100.0	100.0	0.2	0	0	△ 8,505,000	△ 17.1
597,493,000	597,493,000	597,493,000	100.0	100.0	2.1	0	0	51,500,000	8.6
25,583,000	25,583,425	25,583,425	100.0	100.0	0.1	0	0	2,763,425	10.8
11,519,000	11,519,000	11,519,000	100.0	100.0	0.0	0	0	△ 556,000	△ 4.8
135,430,000	135,430,000	135,430,000	100.0	100.0	0.5	0	0	△ 8,960,000	△ 6.6
19,829,000	19,829,000	19,829,000	100.0	100.0	0.1	0	0	27,252,000	137.4
8,696,466,000	8,696,466,000	8,696,466,000	100.0	100.0	30.4	0	0	200,083,000	2.3
2,498,000	2,498,000	2,498,000	100.0	100.0	0.0	0	0	△ 158,000	△ 6.3
62,986,000	81,962,524	65,521,543	104.0	79.9	0.2	0	16,440,981	4,838,674	7.4
384,001,000	419,780,059	389,653,349	101.5	92.8	1.4	0	30,126,710	△ 11,525,919	△ 3.0
6,476,913,000	6,061,930,228	6,061,930,228	93.6	100.0	21.2	0	0	△ 1,652,902,049	△ 27.3
1,706,439,000	1,507,025,007	1,507,025,007	88.3	100.0	5.3	0	0	△ 59,364,680	△ 3.9
187,531,000	278,090,748	191,344,932	102.0	68.8	0.7	72,600	86,673,216	101,609,636	53.1
480,656,000	481,683,642	481,683,642	100.2	100.0	1.7	0	0	385,799,885	80.1
1,993,212,000	1,992,277,013	1,992,277,013	100.0	100.0	7.0	0	0	△ 17,538,637	△ 0.9
1,156,688,000	1,156,688,602	1,156,688,602	100.0	100.0	4.0	0	0	22,176,518	1.9
507,263,000	662,764,083	635,841,371	125.3	95.9	2.2	540,000	26,382,712	△ 342,588,916	△ 53.9
4,038,200,000	3,234,300,000	3,234,300,000	80.1	100.0	11.3	0	0.0	△ 1,138,400,000	△ 35.2
4,000	4,881	4,881	122.0	100.0	0.0	0	0.0	△ 4,881	
29,860,906,000	28,867,565,363	28,644,844,434	95.9	99.2	100.0	3,728,557	218,992,372	△ 2,487,411,027	△ 8.7

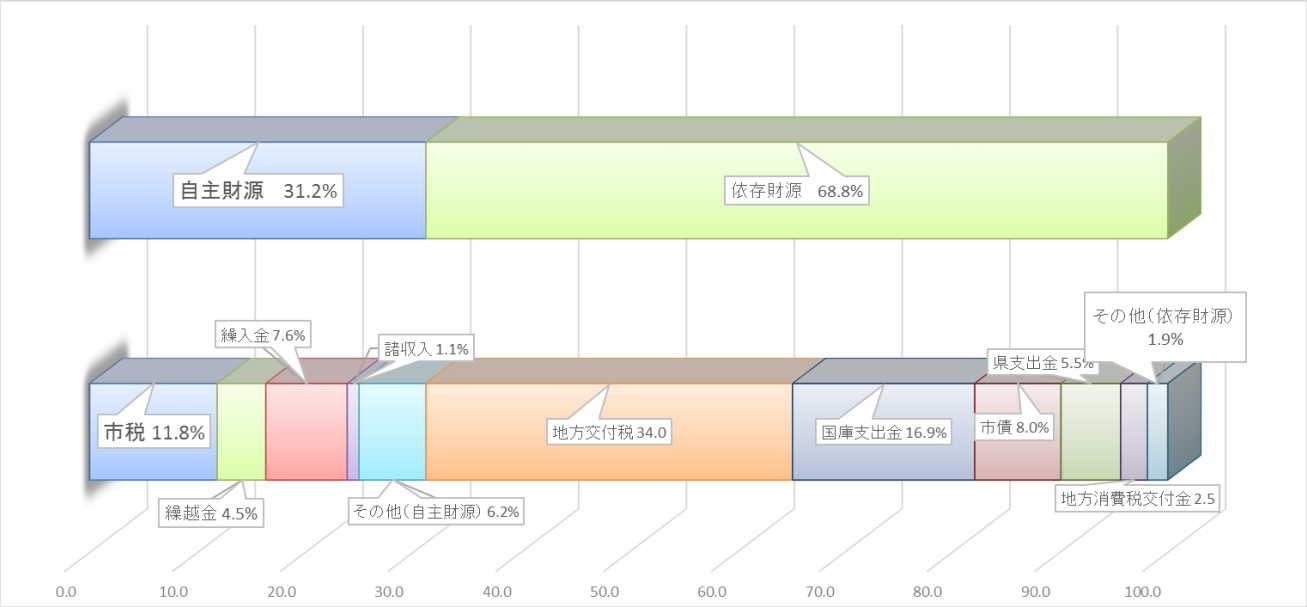
（２）財源別歳入状況

財源別歳入決算の状況は図表７及び図表８のとおりである。

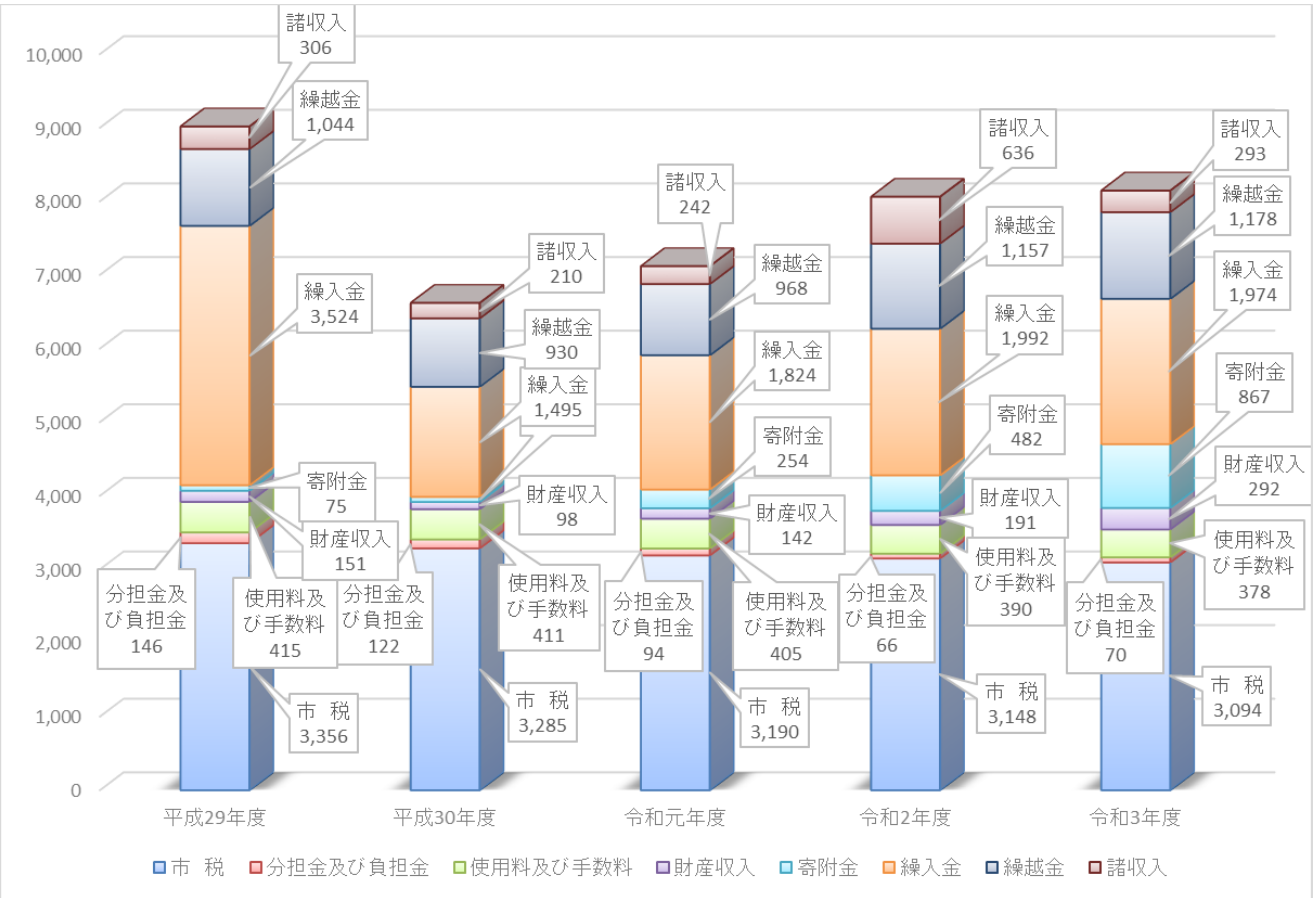
自主財源は、歳入全体に対して 31.2%で、前年度との比較において 1.1%増加している。

依存財源は、歳入全体に対して 68.8%で、前年度との比較において 12.5%の減少となっている。

図表７　自主財源と依存財源



図表８　自主財源額の推移



図表９　自主財源と依存財源　　（単位：千円・％）

区分		令和3年度 決算額	令和3年度 構成比	令和2年度 決算額	令和2年度 構成比	増減額	増減率
自主財源	市税	3,094,473	38.0 11.8	3,147,588	39.1 11.0	△ 53,115	△ 1.7
	分担金及び負担金	70,360	0.9 0.3	65,522	0.8 0.2	4,839	7.4
	使用料及び手数料	378,127	4.6 1.5	389,653	4.8 1.4	△ 11,526	△ 3.0
	財産収入	292,955	3.6 1.1	191,345	2.4 0.7	101,610	53.1
	寄附金	867,484	10.6 3.3	481,684	6.0 1.7	385,800	80.1
	繰入金	1,974,738	24.2 7.6	1,992,277	24.7 7.0	△ 17,539	△ 0.9
	繰越金	1,178,865	14.5 4.5	1,156,689	14.4 4.0	22,177	1.9
	諸収入	293,253	3.6 1.1	635,841	7.9 2.2	△ 342,589	△ 53.9
	計	8,150,255	100.0 31.2	8,060,598	100.0 28.1	89,657	1.1
依存財源	地方譲与税	230,309	1.3 0.9	228,564	1.1 0.8	1,746	0.8
	利子割交付金	1,237	0.0 0.0	1,512	0.0 0.0	△ 275	△ 18.2
	配当割交付金	9,311	0.1 0.0	5,407	0.0 0.0	3,904	72.2
	株式等譲渡所得割交付金	11,726	0.1 0.0	6,916	0.0 0.0	4,810	69.5
	法人事業税交付金	41,264	0.2 0.2	49,769	0.2 0.2	△ 8,505	△ 17.1
	地方消費税交付金	648,993	3.6 2.5	597,493	2.9 2.1	51,500	8.6
	ゴルフ場利用税交付金	28,347	0.2 0.1	25,583	0.1 0.1	2,763	10.8
	環境性能割交付金	10,963	0.1 0.0	11,519	0.1 0.0	△ 556	△ 4.8
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	126,470	0.7 0.5	135,430	0.7 0.5	△ 8,960	△ 6.6
	地方特例交付金	47,081	0.3 0.2	19,829	0.1 0.1	27,252	137.4
	地方交付税	8,896,549	49.4 34.0	8,696,466	42.3 30.4	200,083	2.3
	交通安全対策特別交付金	2,340	0.0 0.0	2,498	0.0 0.0	△ 158	△ 6.3
	国庫支出金	4,409,028	24.5 16.9	6,061,930	29.5 21.2	△ 1,652,902	△ 27.3
	県支出金	1,447,660	8.0 5.5	1,507,025	7.3 5.3	△ 59,365	△ 3.9
	市債	2,095,900	11.6 8.0	3,234,300	15.7 11.3	△ 1,138,400	△ 35.2
	自動車取得税交付金	0	0.0 0.0	5	0.0 0.0	△ 5	△ 100.0
	計	18,007,179	100.0 68.8	20,584,246	100.0 71.9	△ 2,577,068	△ 12.5
合計		26,157,433		28,644,844		△ 2,487,411	△ 8.7

※　構成比欄上段は、財源別歳入計に対する構成比で、下段は、歳入総額に対する構成比を示す。
※　各財源別小計欄は、各欄合計（単位：円）の合計につき、千円未満を四捨五入した数値である。

自主財源収納状況表

（単位：円・%）

区　　分	調 定 額 ①	収入済額 ②	収入率 ②/①	不納欠損額 ③	不納欠損率 ③/①	収入未済額 ④	収入未済率 ④/①
市　　税	3,149,730,738	3,094,472,970	98.2	5,105,093	0.2	50,152,675	1.6
分担金及び負担金	85,801,898	70,360,217	82.0	0	0.0	15,441,681	18.0
使用料及び手数料	405,610,074	378,127,430	93.2	0	0.0	27,482,644	6.8
財産収入	371,533,784	292,954,568	78.9	0	0.0	78,579,216	21.1
寄附金	867,483,527	867,483,527	100.0	0	0.0	0	0.0
繰入金	1,974,738,376	1,974,738,376	100.0	0	0.0	0	0.0
繰越金	1,178,865,120	1,178,865,120	100.0	0	0.0	0	0.0
諸収入	317,976,565	293,252,455	92.2	1,000,000	0.3	23,724,110	7.5
合　　計	8,351,740,082	8,150,254,663	97.6	6,105,093	0.1	195,380,326	2.3
令和２年度	8,283,318,989	8,060,598,060	97.3	3,728,557	0.0	218,992,372	2.6

自主財源が歳入全体に占める割合は 31.2%で、前年度決算より 89,657 千円増加している。

（３）款別歳入状況

1款　市税

令和 3 年度市税は、調定額 3,149,730,738 円に対し収入済額 3,094,472,970 円で、収入率 98.2%、対前年度比で 53,114,638 円、1.7%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 11.8%である。不能欠損額 5,105,093 円（対前年度比 1,989,136 円増）を計上し、収入未済額は 50,152,675 円となっており、前年度と比較して 9,216,078 円減少している。

市税の収納状況　　（単位：円・％）

区分		令和３年度						
		調定額 ①	収入済額 ②	収入率 ②/①	不納欠損額 ③	不納欠損率 ③/①	収入未済額 ④	収入未済率 ④/①
市民税	現年度分	1,040,284,710	1,034,748,917	99.5	0	0.0	5,535,793	0.5
	過年度分	23,776,085	4,493,150	18.9	1,091,449	4.6	18,191,486	76.5
	小計	1,064,060,795	1,039,242,067	97.7	1,091,449	0.1	23,727,279	2.2
固定資産税	現年度分	1,720,904,200	1,714,809,868	99.7	0	0.0	6,094,332	0.4
	過年度分	33,014,420	11,356,120	34.4	3,689,900	11.2	17,968,400	54.4
	小計	1,753,918,620	1,726,165,988	98.4	3,689,900	0.2	24,062,732	1.4
軽自動車税	現年度分	118,427,000	117,788,250	99.5	0	0.0	638,750	0.5
	過年度分	2,610,445	562,787	21.6	323,744	12.4	1,723,914	66.0
	小計	121,037,445	118,351,037	97.8	323,744	0.3	2,362,664	2.0
市たばこ税	現年度分	210,031,786	210,031,786	100.0	0	0.0	0	0.0
	過年度分	18,532	18,532	100.0	0	0.0	0	0.0
	小計	210,050,318	210,050,318	100.0	0	0.0	0	0.0
入湯税	現年度分	663,560	663,560	100.0	0	0.0	0	0.0
合計	現年度分	3,090,311,256	3,078,042,381	99.6	0	0.0	12,268,875	0.4
	過年度分	59,419,482	16,430,589	27.7	5,105,093	8.6	37,883,800	63.8
	合計	3,149,730,738	3,094,472,970	98.2	5,105,093	0.2	50,152,675	1.6

税目別の徴収状況は上記のとおりで、市税の決算額における現年課税分と滞納繰越分の状況は次のとおりとなっている。

現年課税分

調定額 3,090,311,256 円に対し、収入済額 3,078,042,381 円（収入率 99.6%）で不能欠損額 0 円（不能欠損率 0.0%）となっている。収入済額は前年度と比較して 54,925,420 円減少している。

滞納繰越分

調定額 59,419,482 円に対し、収入済額 16,430,589 円（収入率 27.7%）で不能欠損額 5,105,093 円（不能欠損率 8.6%）となっている。収入済額は前年度と比較して 1,810,782 円増加している。

なお、不納欠損の内容は次のとおりとなっている。

（単位：人・件・円）

区分			個人市民税			法人市民税			固定資産税			軽自動車税			合計		
			人数	件数	税額	人数	件数	税額	人数	件数	税額	人数	件数	税額	人数	件数	税額
地方税法	第15条の7第4項	執行停止3年経過	25	143	487,635	0	0	0	33	218	1,695,900	17	17	114,744	75	378	2,298,279
	第15条の7第5項	即時消滅等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第18条第1項	時効完成	15	64	319,714	6	6	284,100	79	410	1,994,000	25	27	209,000	125	507	2,806,814
	（うち、執行停止に係るもの）		15	64	319,714	6	6	284,100	65	345	1,584,100	25	27	209,000	111	442	2,396,914
合計			40	207	807,349	6	6	284,100	112	628	3,689,900	42	44	323,744	200	885	5,105,093

2款　地方譲与税

調定額 230,309,388 円に対し収入済額 230,309,388 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,745,555 円、0.8%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.9%である。

3款　利子割交付金

調定額 1,237,000 円に対し収入済額 1,237,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 275,000 円、18.2%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.0%である。

4款　配当割交付金

調定額 9,311,000 円に対し収入済額 9,311,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 3,904,000 円、72.2%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.04%である。

5款　株式等譲渡所得割交付金

調定額 11,726,000 円に対し収入済額 11,726,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 4,810,000 円、69.5%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.04%である。

6款　法人事業税交付金

調定額 41,264,000 円に対し収入済額 41,264,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 8,505,000 円、17.1%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.2%である。

7款　地方消費税交付金

調定額 648,993,000 円に対し収入済額 648,993,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 51,500,000 円、8.6%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 2.5%である。

8款　ゴルフ場利用税交付金

調定額 28,346,850 円に対し収入済額 28,346,850 円で、収入率 100%、対前年度比で 2,763,425 円、10.8%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.1%である。

9款　環境性能割交付金

調定額 10,963,000 円に対し収入済額 10,963,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 556,000 円、4.8%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.04%である。

10款　国有提供施設等所在市町村助成交付金

調定額 126,470,000 円に対し収入済額 126,470,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 8,960,000 円、6.6%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.5%である。

11 款　地方特例交付金

調定額 47,081,000 円に対し収入済額 47,081,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 27,252,000 円、137.4%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.2%である。

12 款　地方交付税

調定額 8,896,549,000 円に対し収入済額 8,896,549,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 200,083,000 円、2.3%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 34.0%である。

13 款　交通安全対策特別交付金

調定額 2,340,000 円に対し収入済額 2,340,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 158,000 円、6.3%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.01%である。

14 款　分担金及び負担金

調定額 85,801,898 円に対し収入済額 70,360,217 円で、収入率 82.0%、対前年度比で 4,838,674 円、7.4%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.3%である。収入未済額は 15,441,681 円となっており、前年度と比較して 999,300 円減少している。分担金及び負担金の内訳は次のとおりとなっている。

（単位：円・%）

区分			令和３年度						
			調定額 ①	収入済額 ②	収入率 ②/①	不納欠損額 ③	不納欠損率 ③/①	収入未済額 ④	収入未済率 ④/①
負担金	民生費負担金	老人福祉費負担金	28,032,235	28,032,235	100.0	0	0.0	0	0.0
		児童福祉費負担金	24,037,236	22,643,270	94.2	0	0.0	1,393,966	5.8
	衛生費負担金	保健衛生費負担金	2,808,870	2,808,870	100.0	0	0.0	0	0.0
		清掃費負担金	7,684,542	7,684,542	100.0	0	0.0	0	0.0
	農林水産業費負担金	農業費負担金	21,911,515	7,863,800	35.9	0	0.0	14,047,715	64.1
	小計		84,474,398	69,032,717	81.7	0	0.0	15,441,681	18.3
分担金	災害復旧費分担金		0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	農林水産業費分担金		1,327,500	1,327,500	100.0	0	0.0	0	0.0
	小計		1,327,500	1,327,500	100.0	0	0.0	0	0.0
合計			85,801,898	70,360,217	82.0	0	0.0	15,441,681	18.0

・負担金

調定額 84,474,398 円に対し、収入済額 69,032,717 円（収入率 81.7%）となっている。

・分担金

調定額 1,327,500 円に対し、収入済額 1,327,500 円（収入率 100.0%）となっている。

15 款　使用料及び手数料

調定額 405,610,074 円に対し収入済額 378,127,430 円で、収入率 93.2%、対前年度比で 11,525,919 円、3.0%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 1.5%である。収入未済額は 27,482,644 円となっており、前年度と比較して 2,644,066 円減少している。

使用料及び手数料の内訳は次のとおりとなっている。

（単位：円・%）

区分			令和３年度						
			調定額 ①	収入済額 ②	収入率 ②/①	不納欠損額 ③	不納欠損率 ③/①	収入未済額 ④	収入未済率 ④/①
使用料	総務使用料	総務使用料	25,895,551	25,692,811	99.2	0	0.0	202,740	0.8
	民生使用料	社会福祉使用料	4,103,095	4,103,095	100.0	0	0.0	0	0.0
		児童福祉使用料	19,800	19,800	100.0	0	0.0	0	0.0
	衛生使用料	保健衛生使用料	4,938,840	4,938,840	100.0	0	0.0	0	0.0
	農林水産業使用料	農業使用料	412,449	412,449	100.0	0	0.0	0	0.0
		水産業使用料	1,932,481	1,932,481	100.0	0	0.0	0	0.0
		林業使用料	14,468	14,468	100.0	0	0.0	0	0.0
	商工使用料	商工使用料	2,256,969	911,888	40.4	0	0.0	1,345,081	59.6
		観光使用料	1,743,305	1,743,305	100.0	0	0.0	0	0.0
	土木使用料	道路橋梁使用料	3,105,735	3,105,735	100.0	0	0.0	0	0.0
		河川使用料	35,730	35,730	100.0	0	0.0	0	0.0
		港湾使用料	3,755,747	3,755,747	100.0	0	0.0	0	0.0
		公園使用料	1,100	1,100	100.0	0	0.0	0	0.0
		住宅使用料	287,141,873	261,442,253	91.0	0	0.0	25,699,620	9.0
		合併浄化槽使用料	8,090,463	7,880,260	97.4	0	0.0	210,203	2.6
	教育使用料	教育総務使用料	2,800	2,800	100.0	0	0.0	0	0.0
		小学校使用料	9,500	9,500	100.0	0	0.0	0	0.0
		中学校使用料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		幼稚園使用料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		社会教育使用料	1,768,011	1,740,311	98.4	0	0.0	27,700	1.6
		保健体育使用料	3,152,231	3,154,931	100.1	0	0.0	△ 2,700	△ 0.1
	小計		348,380,148	320,897,504	92.1	0	0.0	27,482,644	7.9
手数料	総務手数料	総務管理手数料	1,496,206	1,496,206	100.0	0	0.0	0	0.0
		徴税手数料	2,304,225	2,304,225	100.0	0	0.0	0	0.0
		戸籍住民基本台帳手数料	12,258,350	12,258,350	100.0	0	0.0	0	0.0
	民生手数料	児童福祉手数料	600	600	100.0	0	0.0	0	0.0
		社会福祉手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	衛生手数料	保健衛生手数料	678,890	678,890	100.0	0	0.0	0	0.0
		清掃手数料	40,355,355	40,355,355	100.0	0	0.0	0	0.0
	農林水産業手数料	農業手数料	750	750	100.0	0	0.0	0	0.0
	土木手数料	道路橋梁手数料	9,400	9,400	100.0	0	0.0	0	0.0
		河川手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		港湾手数料	20,150	20,150	100.0	0	0.0	0	0.0
		住宅手数料	102,000	102,000	100.0	0	0.0	0	0.0
	教育手数料	教育総務手数料	1,600	1,600	100.0	0	0.0	0	0.0
		小学校手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		中学校手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		幼稚園手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		社会教育手数料	100	100	100.0	0	0.0	0	0.0
		保健体育手数料	2,100	2,100	100.0	0	0.0	0	0.0
	商工手数料	商工手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		観光手数料	200	200	100.0	0	0.0	0	0.0
	小計		57,229,926	57,229,926	100.0	0	0.0	0	0.0
合計			405,610,074	378,127,430	93.2	0	0.0	27,482,644	6.8

・使用料

調定額 348,380,148 円に対し収入済額 320,897,504 円（収入率 92.1%）となっている。

・手数料

調定額 57,229,926 円に対し収入済額 57,229,926 円（収入率 100.0%）となっている。

16 款　国庫支出金

調定額 4,409,028,179 円に対し収入済額 4,409,028,179 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,652,902,049 円、27.3%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 16.9%である。

17 款　県支出金

調定額 1,447,660,327 円に対し収入済額 1,447,660,327 円で、収入率 100%、対前年度比で 59,364,680 円、3.9%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 5.5%である。

18 款　財産収入

調定額 371,533,784 円に対し収入済額 292,954,568 円で、収入率 78.9%、対前年度比で 101,609,636 円、53.1%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 1.1%である。収入未済額は 78,579,216 円となっており、前年度と比較して 8,094,000 円減少している。

財産収入の内訳は次のとおりとなっている。

（単位：円・%）

区分			令和３年度						
			調定額 ①	収入済額 ②	収入率 ②/①	不納欠損額 ③	不納欠損率 ③/①	収入未済額 ④	収入未済率 ④/①
財産運用収入	財産貸付収入	土地建物貸付収入	45,833,191	39,735,314	86.7	0	0.0	6,097,877	13.3
		物品貸付収入	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	基金運用収入	利子及び配当金	54,656,972	54,656,972	100.0	0	0.0	0	0.0
		基金財産貸付収入	295,700	295,700	100.0	0	0.0	0	0.0
		有価証券等売却益	80,811,000	80,811,000	100.0	0	0.0	0	0.0
	利子及び配当金	利子及び配当金	359,790	359,790	100.0	0	0.0	0	0.0
	小計		181,956,653	175,858,776	96.6	0	0.0	6,097,877	3.4
財産売払収入	不動産売払収入	土地売払収入	59,869,349	59,869,349	100.0	0	0.0	0	0.0
		その他不動産売払収入	81,425,926	13,073,748	16.1	0	0.0	68,352,178	83.9
		建物売払収入	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	物品売払収入	生産物売払収入	566,555	566,555	100.0	0	0.0	0	0.0
		物品売払収入	47,715,301	43,586,140	91.3	0	0.0	4,129,161	8.7
	小計		189,577,131	117,095,792	61.8	0	0.0	72,481,339	38.2
合計			371,533,784	292,954,568	78.9	0	0.0	78,579,216	21.1

・財産運用収入

調定額 181,956,653 円に対し、収入済額 175,858,776 円（収入率 96.7%）で、不能欠損額 0 円（不能欠損率 0.0%）、収入未済額 6,097,877 円（収入未済率 3.4%）となっている。前年度決算額に対し、収入済額で 46,612,331 円増加している。

・財産売払収入

調定額 189,577,131 円に対し、収入済額 117,095,792 円（収入率 61.8%）で、不能欠損額 0 円（不能欠損率 0.0%）、収入未済額 72,481,339 円（収入未済率 38.2%）となっている。前年度決算額に対し、収入済額で 54,997,305 円増加している。

19 款　寄附金

調定額 867,483,527 円に対し収入済額 867,483,527 円で、収入率 100%、対前年度比で 385,799,885 円、80.1%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 3.3%である。
増加の主な要因は、指定寄付金のうち、「ふるさと西海応援寄付金」は 851,748,000 円で、前年度と比較して 371,919,830 円（77.5%）増加している。

20 款　繰入金

決算額は 1,974,738,376 円で、一般会計繰入金及び特別会計繰入金の内訳は下記のとおりである。 前年決算額より 17,538,637 円（0.9%）減少している。歳入全体に占める割合は 7.6％である。内訳は、財政調整基金繰入金（745,145,000 円）、減債基金繰入金（858,579,000 円）、その他特定目的基金繰入金（364,640,500 円）、国民健康保険特別会計(事業勘定)繰入金（4,411,376 円）、介護保険特別会計（保険事業勘定）繰入金（1,962,500 円）である。

21 款　繰越金

調定額 1,178,865,120 円に対し収入済額 1,178,865,120 円で、収入率 100%、対前年度比で 22,176,518 円、1.9%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 4.5%である。

22 款　諸収入

調定額 317,976,565 円に対し収入済額 293,252,455 円で、収入率 92.2%、対前年度比で 342,588,916 円、53.9%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 1.1%である。不能欠損額 1,000,000 円（対前年度比 460,000 円増）を計上し、収入未済額は 23,724,110 円となっており、前年度と比較して 2,658,602 円減少している。

収入の内訳は、延滞金（2,149,154 円）、遅延損害金（270,502 円）、市預金利子（30,386 円）、後期高齢者医療広域連合受託事業収入（17,840,027 円）、実習指導受託事業収入（43,600 円）、農業者年金事務受託事業収入（985,900 円）、公社住宅管理受託事業収入（4,407,770 円）、貸付金元利収入（99,919,936 円）、弁償金（886,876 円）、違約金及び延滞利息（203,518 円）、雑入（166,514,786 円）である。

不能欠損額の内訳は、弁償金（1,000,000 円）であり、収入未済額の主な内訳は、弁償金（4,047,360 円）、違約金及び延滞利息（340,576 円）、雑入（19,336,174 円）である。

23 款　市債

調定額 2,095,900,000 円に対し収入済額 2,095,900,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,138,400,000 円、35.2%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 8.0%である。

３．歳出について

（１）歳出決算の概要

歳入決算額の状況及び前年度との比較は図表１０のとおりとなっている。

令和３年度一般会計歳出決算額は、予算現額 27,866,208,000 円に対し、支出済額 24,706,421,236 円で、翌年度繰越額 1,891,991,000 円を計上し、執行率 88.7%、不用額は 1,267,795,764 円となっている。

前年度との比較においては、2,759,558,078 円（10.0%）の減となっている。

特に減少が大きいものは、総務費 2,193,623 千円（27.8%減）、土木費 639,909 千円（36.4%減）、農林水産業費 391,470 千円（38.4%減）である。

歳出の主なものを款別構成比順にみると次のとおりとなっている。

（　）内は構成比を示す。

①	民　生　費	7,261,952 千円（29.4%）
②	総　務　費	5,694,726 千円（23.0%）
③	衛　生　費	3,130,037 千円（12.7%）
④	公　債　費	2,965,654 千円（12.0%）
⑤	教　育　費	2,054,943 千円（ 8.3%）
⑥	土　木　費	1,119,791 千円（ 4.5%）
⑦	消　防　費	674,057 千円（ 2.7%）
⑧	商　工　費	651,731 千円（ 2.6%）
⑨	農林水産業費	628,770 千円（ 2.5%）
⑩	災害復旧費	300,836 千円（ 1.2%）

一般会計款別歳出

図表１０

区　　分	令和 3年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
議　会　費	178,466,000	159,851,607	89.6	0.6	0	18,614,393
総　務　費	6,054,736,000	5,694,725,573	94.1	23.0	216,855,000	143,155,427
民　生　費	7,925,133,000	7,261,951,746	91.6	29.4	36,952,000	626,229,254
衛　生　費	3,449,756,000	3,130,036,907	90.7	12.7	263,077,000	56,642,093
労　働　費	4,000	0	0.0	0.0	0	4,000
農林水産業費	688,078,000	628,769,678	91.4	2.5	25,508,000	33,800,322
商　工　費	929,928,000	651,731,287	70.1	2.6	111,869,000	166,327,713
土　木　費	1,352,338,000	1,119,790,801	82.8	4.5	171,253,000	61,294,199
消　防　費	789,354,000	674,057,209	85.4	2.7	89,359,000	25,937,791
教　育　費	2,385,053,000	2,054,943,361	86.2	8.3	227,117,000	102,992,639
災害復旧費	1,064,310,000	300,836,180	28.3	1.2	750,001,000	13,472,820
公　債　費	2,966,118,000	2,965,653,887	100.0	12.0	0	464,113
諸支出金	64,073,000	64,073,000	100.0	0.3	0	0
予　備　費	18,861,000	0	0.0	0.0	0	18,861,000
合　　計	27,866,208,000	24,706,421,236	88.7	100.0	1,891,991,000	1,267,795,764

決算前年度比較表

（単位：円・％）

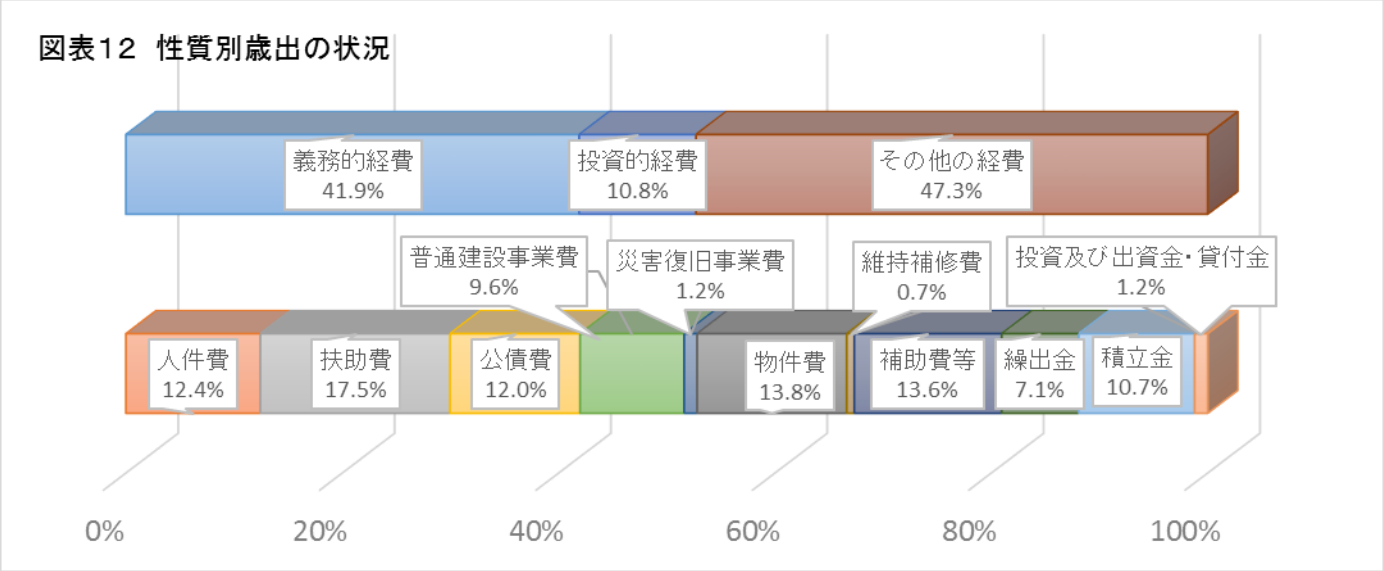
令和 2年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増　減 ②－⑥＝⑨	増減率 ⑨/⑥
183,532,000	168,717,898	91.9	0.6	0	14,814,102	△ 8,866,291	△ 5.3
8,376,128,000	7,888,348,384	94.2	28.7	357,611,000	130,168,616	△ 2,193,622,811	△ 27.8
7,155,429,000	6,882,866,947	96.2	25.1	0	272,562,053	379,084,799	5.5
3,044,004,000	2,739,817,543	90.0	10.0	259,044,000	45,142,457	390,219,364	14.2
4,000	1,100	27.5	0.00	0	2,900	△ 1,100	－
1,145,946,000	1,020,240,023	89.0	3.7	69,172,000	56,533,977	△ 391,470,345	△ 38.4
1,094,729,000	887,925,158	81.1	3.2	192,400,000	14,403,842	△ 236,193,871	△ 26.6
2,188,601,000	1,759,700,574	80.4	6.4	319,623,000	109,277,426	△ 639,909,773	△ 36.4
1,025,876,000	920,762,718	89.8	3.4	29,467,000	75,646,282	△ 246,705,509	△ 26.8
2,403,335,000	2,082,430,719	86.6	7.6	191,443,000	129,461,281	△ 27,487,358	△ 1.3
222,234,000	94,544,671	42.5	0.3	119,642,000	8,047,329	206,291,509	218.2
2,982,047,000	2,981,582,579	100.0	10.9	0	464,421	△ 15,928,692	△ 0.5
39,041,000	39,041,000	100.0	0.1	0	0	25,032,000	64.1
0	0		0.0	0	0	0	－
29,860,906,000	27,465,979,314	92.0	100.0	1,538,402,000	856,524,686	△ 2,759,558,078	△ 10.0

（２）性質別歳出状況

性質別歳出の状況は図表１１のとおりである。

図表１１　性質別歳出の状況　（単位：千円・％）

区分		令和3年度		令和2年度		増減額	増減率
		決算額	構成比	決算額	構成比		
義務的経費	人件費	3,060,534	12.4	2,974,932	10.8	85,602	2.9
	扶助費	4,334,490	17.5	3,689,996	13.4	644,494	17.5
	公債費	2,965,654	12.0	2,981,583	10.9	△ 15,929	△ 0.5
	計	10,360,678	41.9	9,646,511	35.1	714,167	7.4
投資的経費	普通建設事業費	2,366,163	9.6	3,777,355	13.8	△ 1,411,192	△ 37.4
	災害復旧事業費	299,461	1.2	94,545	0.3	204,916	216.7
	計	2,665,624	10.8	3,871,900	14.1	△ 1,206,276	△ 31.2
その他の経費	物件費	3,415,013	13.8	3,197,944	11.6	217,069	6.8
	維持補修費	174,098	0.7	180,546	0.7	△ 6,448	△ 3.6
	補助費等	3,371,280	13.6	6,389,867	23.3	△ 3,018,587	△ 47.2
	繰出金	1,759,813	7.1	1,867,078	6.8	△ 107,265	△ 5.7
	積立金	2,651,742	10.7	2,035,099	7.4	616,643	30.3
	投資及び出資金・貸付金	308,173	1.2	277,034	1.1	31,139	11.2
	計	11,680,119	47.3	13,947,568	50.8	△ 2,267,449	△ 16.3
合計		24,706,421	100.0	27,465,979	100.0	△ 2,759,558	△ 10.0



（３）款別歳出状況

1款　議会費

予算現額 178,466,000 円に対して、支出済額 159,851,607 円で、執行率 89.6%、不用額 18,614,393 円となっている。歳出総額に占める割合は 0.6%である。前年度比較において 8,866,291 円（5.3%）減少している。

人件費を除く主な執行事業は次のとおりである。

・議員活動費　11,605 千円

2款　総務費

予算現額 6,054,736,000 円に対して、支出済額 5,694,725,573 円で、執行率 94.1%、翌年度繰越額 216,855,000 円を計上し、不用額 143,155,427 円となっている。歳出総額に占める割合は 23%である。前年度比較において 2,193,622,811 円（27.8%）減少している。

人件費を除く主な執行事業は次のとおりである。

１項 総務管理費　5,290,772 千円（前年度 7,514,266 千円）

・ふるさと西海応援寄附金事業　830,262 千円
・大島総合支所建設事業　53,331 千円
・集会所等整備事業費補助事業　51,730 千円
・公共施設等手洗水栓取替事業　39,006 千円
・西海創生推進事業（地方創生推進交付金）　34,445 千円
・100 人雇用創出プロジェクト　25,360 千円
・移住定住促進事業　22,863 千円
・脱炭素社会に向かうまち創造事業　8,184 千円
・路線バス待合所建設事業　7,844 千円

翌年度繰越額　213,555 千円の主な内訳は次のとおりである。

・多目的船建造事業　152,636 千円

２項 徴税費　174,798 千円（前年度 199,576 千円）

３項 戸籍住民基本台帳費　115,758 千円（前年度 126,339 千円）

・マイナンバーカード交付円滑化事業　19,700 千円

翌年度繰越額　3,300 千円の内訳は次のとおりである。

・住民基本台帳システム改修事業　3,300 千円

４項 選挙費　91,882 千円（前年度 16,086 千円）

５項 統計調査費　1,102 千円（前年度 11,650 千円）

６項 監査委員費　20,415 千円（前年度 20,432 千円）

3款　民生費

予算現額 7,925,133,000 円に対して、支出済額 7,261,951,746 円で、執行率 91.6%、翌年度繰越額 36,952,000 円を計上し、不用額 626,229,254 円となっている。歳出総額に占める割合は 29.4%である。前年度比較において 379,084,799 円（5.5%）増加している。

人件費を除く主な執行事業は次のとおりである。

１項 社会福祉費　3,276,054 千円（前年度 3,187,597 千円）

・障害者自立支援給付事業　932,227 千円

・敬老事業費　10,043 千円
・地域介護・福祉空間整備事業等補助事業　7,730 千円

2 項 児童福祉費　2,969,985 千円（前年度 2,913,093 千円）
・子どものための教育・保育給付事業　1,234,012 千円
・子育て世帯臨時特別給付事業　364,482 千円
・市立認定こども園施設整備事業　62,180 千円
・保育所等整備事業　59,064 千円
・低所得子育て世帯生活支援特別給付事業（ひとり親世帯分 ）　17,360 千円
・低所得子育て世帯生活支援特別給付事業（ひとり親世帯以外分）　16,251 千円
翌年度繰越額　36,952 千円の主な内訳は次のとおりである。
・児童福祉施設改修事業　33,445 千円

3 項 生活保護費　1,009,593 千円（前年度 780,070 千円）

4 項 災害救助費　6,319 千円（前年度 2,107 千円）
・災害見舞金　5,200 千円

4 款　衛生費

予算現額 3,449,756,000 円に対して、支出済額 3,130,036,907 円で、執行率 90.7%、翌年度繰越額 263,077,000 円を計上し、不用額 56,642,093 円となっている。歳出総額に占める割合は 12.7%である。前年度比較において 390,219,364 円（14.2%）増加している。

人件費を除く主な執行事業は次のとおりである。

1 項 保健衛生費　977,749 千円（前年度 565,500 千円）
・新型コロナウイルス予防接種事業　303,585 千円
・医療機関新規開設・承継補助事業（繰越分）　50,000 千円
翌年度繰越額　263,077 千円の主な内訳は次のとおりである。
・新型コロナウイルス予防接種事業　223,846 千円
・医療機関新規開設・承継補助事業　35,000 千円

2 項 清掃費　945,995 千円（前年度 936,810 千円）
・使用停止済み焼却炉施設解体事業（繰越分）　160,864 千円

3 項 上水道費　339,703 千円（前年度 300,153 千円）
・上水道事業補助金　241,225 千円

4 項 下水道費　866,590 千円（前年度 937,354 千円）
・下水道事業補助金　352,799 千円

6 款　農林水産業費

予算現額 688,078,000 円に対して、支出済額 628,769,678 円で、執行率 91.4%、翌年度繰越額 25,508,000 円（うち事故繰越額 524,000 円を含む）を計上し、不用額 33,800,322 円となっている。歳出総額に占める割合は 2.5%である。前年度比較において 391,470,345 円（38.4%）減少している。

人件費を除く主な執行事業は次のとおりである。

1 項 農業費　456,051 千円（前年度 722,105 千円）

・小迎地区農業競争力強化基盤整備事業（繰越分）　31,000 千円
・ながさき鳥獣被害防止総合対策事業　26,708 千円
・新たな就農者支援事業　16,888 千円
・白崎地区農業競争力強化基盤整備事業　15,091 千円
・防災重点ため池災害対策事業（繰越分）　6,962 千円
・小迎地区農業競争力強化基盤整備事業　2,091 千円
・小迎地区農業競争力強化基盤整備事業（繰越分）　2,000 千円
・面高地区農業競争力強化基盤整備事業（繰越分）　1,789 千円
・ながさき型スマート産地確立支援事業　1,597 千円
翌年度繰越額　25,130 千円の主な内訳は次のとおりである。
・白崎地区農業競争力強化基盤整備事業　6,200 千円
・面高地区農業競争力強化基盤整備事業　3,954 千円

２項 林業費　64,123 千円（前年度 95,937 千円）
・未来につなぐ西海の森づくり事業　13,703 千円

３項 水産業費　108,596 千円（前年度 202,198 千円）
・漁港施設車止め整備事業　13,506 千円
・「西海の魚ごはん」加工流通促進事業　3,793 千円
・ひとが創る持続可能な漁村推進事業　3,350 千円

７款　商工費

予算現額 929,928,000 円に対して、支出済額 651,731,287 円で、執行率 70.1%、翌年度繰越額 111,869,000 円を計上し、不用額 166,327,713 円となっている。歳出総額に占める割合は 2.6%である。前年度比較において 236,193,871 円（26.6%）減少している。

人件費を除く主な執行事業は次のとおりである。

１項 商工費　651,731 千円（前年度 887,925 千円）
・新型コロナウイルス感染症経済対策事業　65,814 千円
・寄船砲台跡地公園整備事業　6,188 千円
翌年度繰越額　111,869 千円の内訳は次のとおりである。
・営業時間短縮要請協力金　79,590 千円
・長崎オランダ村施設改修事業　32,279 千円

８款　土木費

予算現額 1,352,338,000 円に対して、支出済額 1,119,790,801 円で、執行率 82.8%、翌年度繰越額 171,253,000 円を計上し、不用額 61,294,199 円となっている。歳出総額に占める割合は 4.5%である。前年度比較において 639,909,773 円（36.4%）減少している。

人件費を除く主な執行事業は次のとおりである。

１項 土木管理費　181,460 千円（前年度 204,259 千円）

２項 道路橋梁費　364,362 千円（前年度 580,002 千円）
・市道鳥加１号線道路改良事業　9,585 千円
・市道池の原中山谷線・大浦線道路改良事業　8,143 千円

３項 河川費　105,338 千円（前年度 106,333 千円）
・高地地区急傾斜地崩壊対策事業（繰越分）　33,098 千円

翌年度繰越額　101,762 千円の主な内訳は次のとおりである。
・災害関連地域防災がけ崩れ対策事業　58,820 千円

4 項 港湾費　42,081 千円（前年度 65,520 千円）

5 項 都市計画費　7,219 千円（前年度 5,656 千円）

6 項 住宅費　419,331 千円（前年度 797,931 千円）
・市営住宅建設事業（繰越分）　138,268 千円
・旧徳万団地解体事業　19,778 千円
・老朽危険空き家除却支援事業　8,394 千円
翌年度繰越額　69,491 千円の主な内訳は次のとおりである。
・旧徳万団地解体事業　68,242 千円

9 款　消防費

予算現額 789,354,000 円に対して、支出済額 674,057,209 円で、執行率 85.4%、翌年度繰越額 89,359,000 円を計上し、不用額 25,937,791 円となっている。歳出総額に占める割合は 2.7%である。前年度比較において 246,705,509 円（26.8%）減少している。

人件費を除く主な執行事業は次のとおりである。

1 項 消防費　674,057 千円（前年度 920,763 千円）
・消防団格納庫・詰所建設事業　60,492 千円
・消防団格納庫・詰所建設事業（繰越分）　27,242 千円
・小型動力ポンプ付積載車等購入事業　23,216 千円

10 款　教育費

予算現額 2,385,053,000 円に対して、支出済額 2,054,943,361 円で、執行率 86.2%、翌年度繰越額 227,117,000 円を計上し、不用額 102,992,639 円となっている。歳出総額に占める割合は 8.3%である。前年度比較において 27,487,358 円（1.3%）減少している。

人件費を除く主な執行事業は次のとおりである。

1 項 教育総務費　352,872 千円（前年度 327,700 千円）
・小学校統合事業　10,569 千円
・教職員住宅改修事業　1,650 千円

2 項 小学校費　765,405 千円（前年度 709,948 千円）
・西彼北小学校施設等整備事業　235,586 千円
・大島東小学校施設等整備事業　159,664 千円

3 項 中学校費　203,037 千円（前年度 234,696 千円）
・西彼中学校施設等整備事業　6,325 千円
・部活動指導員派遣事業　1,231 千円

4 項 幼稚園費　1,005 千円（前年度 28,848 千円）

5 項 社会教育費　347,434 千円（前年度 316,464 千円）
・大瀬戸コミュニティセンター改修事業（繰越分）　29,693 千円
・大瀬戸歴史民俗資料館改修事業　14,727 千円

・大島図書館改修事業　2,809 千円

6 項 保健体育費　385,189 千円（前年度 464,775 千円）
・西海スポーツガーデン体育館改修事業　5,775 千円

11 款　災害復旧費

予算現額 1,064,310,000 円に対して、支出済額 300,836,180 円で、執行率 28.3%、翌年度繰越額 750,001,000 円を計上し、不用額 13,472,820 円となっている。歳出総額に占める割合は 1.2%である。前年度比較において 206,291,509 円（218.2%）増加している。

人件費を除く主な執行事業は次のとおりである。

1 項 農林水産施設災害復旧費　152,695 千円（前年度 28,825 千円）

2 項 公共土木施設災害復旧費　114,824 千円（前年度 56,386 千円）

3 項 文教施設災害復旧費　33,318 千円（前年度 9,334 千円）

12 款　公債費

予算現額 2,966,118,000 円に対して、支出済額 2,965,653,887 円で、執行率 100.0%、不用額 464,113 円となっている。歳出総額に占める割合は 12%である。前年度比較において 15,928,692 円（0.5%）減少している。

公債費比率等の推移は図表１３のとおりとなっている。

図表１３　決算状況の推移　（単位：千円）

区　　分	２９年度	３０年度	元年度	２年度	３年度
歳　入　総　額	24,848,093	22,684,658	23,902,374	28,644,844	26,157,433
歳　出　総　額	23,917,704	21,716,766	22,745,686	27,465,979	24,706,421
実質公債費比率	△0.6%	△1.4%	△2.1%	△2.8%	△1.8%
公債費比率	－	－	－	－	
債務負担行為を含む公債費比率	－	－	－	－	
起債制限比率	－	－	－	－	
基金現在高	15,917,232	16,071,709	15,701,566	15,748,550	16,431,927
地方債現在高	20,220,473	20,047,426	20,341,163	20,616,442	19,801,527
経常収支比率	83.1%	84.8%	87.7%	83.6%	83.9%
実質収支比率	6.93%	7.01%	8.52%	6.79%	9.54%

※基金現在高は、土地開発基金を除いた数値である。

13 款　諸支出金

予算現額 64,073,000 円に対して、支出済額 64,073,000 円で、執行率 100.0%、不用額 0 円となっている。歳出総額に占める割合は 0.3%である。前年度比較において 25,032,000 円（64.1%）増加している。

1 項 公営企業費　64,073 千円（前年度 39,041 千円）

・交通船特別会計繰出金　64,073 千円

特　別　会　計

特別会計の種類

国民健康保険特別会計
後期高齢者医療特別会計
交通船特別会計
介護保険特別会計
工業団地整備事業特別会計

図表６

区分	令和 3年度							
	予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②－③－④
国民健康保険税	607,075,000	715,901,148	645,697,525	106.4	90.2	17.2	5,647,544	64,556,079
使用料及び手数料	103,000	123,875	123,875	120.3	100.0	0.0	0	0
国庫支出金	920,000	918,000	918,000	99.8	100.0	0.0	0	0
県支出金	2,946,475,000	2,732,718,212	2,732,718,212	92.7	100.0	72.6	0	0
連合会支出金	1,000	0	0	0.0		0.0	0	0
財産収入	3,000	3,674	3,674	122.5	100.0	0.0	0	0
繰入金	266,809,000	263,319,376	263,319,376	98.7	100.0	7.0	0	0
繰越金	114,702,000	114,702,056	114,702,056	100.0	100.0	3.0	0	0
諸収入	9,021,000	6,621,217	6,141,113	68.1	92.7	0.2	2,366	477,738
市債	1,000	0	0	0.0		0.0	0	0
合計	3,945,110,000	3,834,307,558	3,763,623,831	95.4	98.2	100.0	5,649,910	65,033,817

国民健康保険特別会計（事業勘定）

１．決算の概要

令和３年度における決算は歳入総額 3,763,623,831 円、歳出総額 3,689,125,345 円で、歳入歳出差引残額 74,498,486 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 74,498,486 円の黒字となっている。

（１）歳　入

令和３年度歳入決算額は、予算現額 3,945,110,000 円、調定額 3,834,307,558 円に対し収入済額 3,763,623,831 円で収入率 98.2%、対前年度比で 138,938,912 円、3.6%の減少となっている。不能欠損額 5,649,910 円（対前年度比 2,784,512 円増）を計上し収入未済額は 65,033,817 円となっており、前年度と比較して 5,732,426 円減少している。

国保税収入で、不納欠損額 5,647,544 円を計上し、収入未済額は 64,556,079 円となっており、内訳は、現年課税分調定額 645,670,900 円に対し収入済額 632,683,409 円で収入率 98.0%、滞納繰越分調定額 70,230,248 円に対し収入済額 13,014,116 円で収入率 18.5%となっている。

繰入金においては、保険基盤安定繰入金及び財政安定化支援事業繰入金、一般会計等から 263,319,376 円が繰入れられている。なお、国民健康保険税の不納欠損内訳は次のとおりとなっている。

款別歳入決算前年度比較表

（単位：円・％）

令和 2年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調 定 額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥－⑦－⑧	増　減 ③－⑦＝⑨	増減率 ⑨/⑦
631,086,000	753,812,859	680,711,322	107.9	90.3	17.4	2,865,398	70,236,139	△ 35,013,797	△ 5.1
103,000	161,635	161,635	156.9	100.0	0.0	0	0	△ 37,760	△ 23.4
7,189,000	7,176,000	7,176,000	99.8	100.0	0.2	0	0	△ 6,258,000	△ 87.2
3,009,571,000	2,806,425,023	2,806,425,023	93.3	100.0	71.9	0	0	△ 73,706,811	△ 2.6
1,000	0	0	0.0		0.0	0	0	0	
3,000	4,015	4,015	133.8	100.0	0.0	0	0	△ 341	△ 8.5
268,195,000	266,503,305	266,503,305	99.4	100.0	6.8	0	0	△ 3,183,929	△ 1.2
124,758,000	124,758,697	124,758,697	100.0	100.0	3.2	0	0	△ 10,056,641	△ 8.1
9,021,000	17,362,850	16,822,746	186.5	96.9	0.4	0	540,104	△ 10,681,633	△ 63.5
1,000	0	0	0.0		0.0	0	0	0	
4,049,928,000	3,976,204,384	3,902,562,743	96.4	98.1	100.0	2,865,398	70,776,243	△ 138,938,912	△ 3.6

【国民健康保険税】　　（単位：人・件・円）

区　　分			国民健康保険税		
			人数	件数	税額
地方税法	第15条の7第4項	執行停止3年経過	44	217	3,663,928
	第15条の7第5項	即時消滅等	0	0	0
	第18条第1項	時効完成	53	247	1,983,616
	（うち、執行停止に係るもの）		50	232	1,886,916
合　　計			97	464	5,647,544

諸収入の不納欠損金 2,366 円については一般被保険者返納金である。

国民健康保険特別会計（事業勘定）

図表１０

区　　分	令和 3年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
総　務　費	38,450,000	33,019,520	85.9	0.9	0	5,430,480
保　険　給　付　費	2,817,854,000	2,615,666,671	92.8	70.9	0	202,187,329
国民健康保険事業費納付金	891,980,000	891,978,324	100.0	24.2	0	1,676
共同事業拠出金	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
財政安定化基金拠出金	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
保　健　事　業　費	62,745,000	45,104,614	71.9	1.2	0	17,640,386
基　金　積　立　金	53,314,000	53,313,431	100.0	1.4	0	569
公　債　費	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
諸　支　出　金	52,572,000	50,042,785	95.2	1.4	0	2,529,215
予　備　費	28,192,000	0	0.0	0.0	0	28,192,000
合　計	3,945,110,000	3,689,125,345	93.5	100.0	0	255,984,655

（２）歳　出

令和３年度歳出決算額は、予算現額 3,945,110,000 円に対して、支出済額 3,689,125,345 円で、執行率 93.5%、不用額 255,984,655 円となっている。前年度比較において 98,735,342 円（2.6%）減少している。

1款　総務費

予算現額 38,450,000 円に対して、支出済額 33,019,520 円で、執行率 85.9%、不用額 5,430,480 円となっている。前年度比較において 1,750,535 円（5.0%）減少している。

2款　保険給付費

予算現額 2,817,854,000 円に対して、支出済額 2,615,666,671 円で、執行率 92.8%、不用額 202,187,329 円となっている。前年度比較において 49,708,692 円（1.9%）減少している。

3款　国民健康保険事業納付金

予算現額 891,980,000 円に対して、支出済額 891,978,324 円で、執行率 100.0%、不用額 1,676 円となっている。前年度比較において 32,775,081 円（3.5%）減少している。

款別歳出決算前年度比較表

（単位：円・％）

令和 2年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増　減 ②－⑥＝⑨	増減率 ⑨/⑥
38,694,000	34,770,055	89.9	0.9	0	3,923,945	△ 1,750,535	△ 5.0
2,873,563,000	2,665,375,363	92.8	70.4	0	208,187,637	△ 49,708,692	△ 1.9
924,755,000	924,753,405	100.0	24.4	0	1,595	△ 32,775,081	△ 3.5
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	0	－
1,000	0	0.0	0.00	0	1,000	0	－
60,743,000	41,975,978	69.1	1.1	0	18,767,022	3,128,636	7.5
67,934,000	67,934,000	100.0	1.8	0	0	△ 14,620,569	△ 21.5
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	0	－
55,480,000	53,051,886	95.6	1.4	0	2,428,114	△ 3,009,101	△ 5.7
28,756,000	0	0.0	0.0	0	28,756,000	0	－
4,049,928,000	3,787,860,687	93.5	100.0	0	262,067,313	△ 98,735,342	△ 2.6

6款　保健事業費

予算現額 62,745,000 円に対して、支出済額 45,104,614 円で、執行率 71.9%、不用額 17,640,386 円となっている。前年度比較において 3,128,636 円（7.5%）増加している。

7款　基金積立金

予算現額 53,314,000 円に対して、支出済額 53,313,431 円で、執行率 100.0%、不用額 569 円となっている。前年度比較において 14,620,569 円（21.5%）減少している。

・財政調整基金積立金　52,878 千円

9款　諸支出金

予算現額 52,572,000 円に対して、支出済額 50,042,785 円で、執行率 95.2%、不用額 2,529,215 円となっている。前年度比較において 3,009,101 円（5.7%）減少している。

国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）

図表６

区分	令和 3年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②－③－④
診療収入	50,175,000	38,522,076	38,522,076	76.8	100.0	22.8	0	0
使用料及び手数料	1,404,000	1,372,404	1,372,404	97.7	100.0	0.8	0	0
県支出金								
繰入金	112,388,000	104,686,283	104,686,283	93.1	100.0	62.0	0	0
繰越金	22,002,000	22,002,523	22,002,523	100.0	100.0	13.0	0	0
諸収入	3,120,000	2,381,735	2,381,735	76.3	100.0	1.4	0	0
市債								
国庫支出金								
合計	189,089,000	168,965,021	168,965,021	89.4	100.0	100.0	0	0

国民健康保険特別会計（直診勘定）

１．決算の概要

令和３年度における決算は、歳入総額 168,965,021 円、歳出総額 152,872,442 円で、歳入歳出差引残額 16,092,579 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 16,092,579 円の黒字となっている。

（１）歳　入

令和３年度歳入決算は、予算現額 189,089,000 円、調定額 168,965,021 円に対し収入済額 168,965,021 円で、収入率 100%、対前年度比で 28,484,305 円、14.4%の増加となっている。不能欠損額はない。

１款　診療収入

調定額 38,522,076 円に対し収入済額 38,522,076 円で、収入率 100%、対前年度比で 7,533,661 円、16.4%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 22.8%である。

２款　使用料及び手数料

調定額 1,372,404 円に対し収入済額 1,372,404 円で、収入率 100%、対前年度比で 154,647 円、10.1%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.8%である。

３款　繰入金

調定額 104,686,283 円に対し収入済額 104,686,283 円で、収入率 100%、対前年度比で 36,646,283 円、53.9%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 62.0%である。

・一般会計繰入金　67,293 千円
・事業勘定繰入金　37,393 千円

款別歳入決算前年度比較表

（単位：円・％）

令和 2年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調 定 額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥－⑦－⑧	増　減 ③－⑦＝⑨	増減率 ⑨/⑦
52,704,000	46,055,737	46,055,737	87.4	100.0	23.3	0	0	△ 7,533,661	△ 16.4
2,255,000	1,527,051	1,527,051	67.7	100.0	0.8	0	0	△ 154,647	△ 10.1
5,436,000	5,436,000	5,436,000	100.0	100.0	2.8	0	0	△ 5,436,000	
68,040,000	68,040,000	68,040,000	100.0	100.0	34.5	0	0	36,646,283	53.9
20,998,000	20,998,365	20,998,365	100.0	100.0	10.6	0	0	1,004,158	4.8
3,166,000	3,301,173	3,301,173	104.3	100.0	1.7	0	0	△ 919,438	△ 27.9
2,300,000	2,300,000	2,300,000	100.0	100.0	1.2	0	0	△ 2,300,000	
49,791,000	49,791,000	49,791,000	100.0	100.0	25.2	0	0	△ 49,791,000	
204,690,000	197,449,326	197,449,326	96.5	100.0	100.0	0	0	28,484,305	14.4

4款　繰越金

調定額 22,002,523 円に対し収入済額 22,002,523 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,004,158 円、4.8%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 13.0%である。

5款　諸収入

調定額 2,381,735 円に対し収入済額 2,381,735 円で、収入率 100%、対前年度比で 919,438 円、27.9%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 1.4%である。

国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）

図表１０

区　　分	令和 3年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
総　務　費	134,599,000	119,805,716	89.0	78.4	0	14,793,284
医　業　費	45,912,000	25,503,682	55.5	16.7	0	20,408,318
公　債　費	7,577,000	7,563,044	99.8	4.9	0	13,956
施設整備費	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
予　備　費	1,000,000	0	0.0	0.0	0	1,000,000
合　　計	189,089,000	152,872,442	80.8	100.0	0	36,216,558

（２）歳　出

令和３年度歳出決算額は、予算現額 189,089,000 円に対して、支出済額 152,872,442 円で、執行率 80.8%、不用額 36,216,558 円となっている。前年度比較において 22,574,361 円（12.9%）減少している。

人件費を除く主な執行状況は次のとおりである。

1款　総務費

予算現額 134,599,000 円に対して、支出済額 119,805,716 円で、執行率 89.0%、不用額 14,793,284 円となっている。前年度比較において 11,186,862 円（8.5%）減少している。

・診療所一般管理修繕料　1,213 千円

2款　医業費

予算現額 45,912,000 円に対して、支出済額 25,503,682 円で、執行率 55.5%、不用額 20,408,318 円となっている。前年度比較において 10,739,069 円（29.6%）減少している。

・医薬品衛生材料費　20,482 千円
・医療用機械器具費　1,285 千円
・医療用消耗器材費　2,009 千円

3款　公債費

予算現額 7,577,000 円に対して、支出済額 7,563,044 円で、執行率 99.8%、不用額 13,956 円となっている。前年度比較において 648,430 円（7.9%）減少している。

款別歳出決算前年度比較表

（単位：円・％）

令和 2年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増　減 ②－⑥＝⑨	増減率 ⑨/⑥
142,099,000	130,992,578	92.2	74.7	0	11,106,422	△ 11,186,862	△ 8.5
53,358,000	36,242,751	67.9	20.7	0	17,115,249	△ 10,739,069	△ 29.6
8,232,000	8,211,474	99.8	4.7	0	20,526	△ 648,430	△ 7.9
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	0	－
1,000,000	0	0.0	0.00	0	1,000,000	0	－
204,690,000	175,446,803	85.7	100.0	0	29,243,197	△ 22,574,361	△ 12.9

図表６

区　　分	令和 3年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②－③－④
後期高齢者医療保険料	248,912,000	243,743,442	243,794,829	97.9	100.0	63.9	0	△ 51,387
使用料及び手数料	30,000	18,400	18,400	61.3	100.0	0.0	0	0
繰　　入　　金	137,770,000	137,646,436	137,646,436	99.9	100.0	36.1	0	0
繰　　越　　金	26,000	26,100	26,100	100.4	100.0	0.0	0	0
諸　　収　　入	331,000	220,700	220,700	66.7	100.0	0.1	0	0
合　　計	387,069,000	381,655,078	381,706,465	98.6	100.0	100.0	0	△ 51,387

後期高齢者医療特別会計

１．決算の概要

令和３年度における決算は、歳入総額 381,706,465 円、歳出総額 378,100,430 円で、歳入歳出差引残額 3,606,035 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 3,606,035 円の黒字となっている。

（１）歳　入

令和３年度歳入決算は、予算現額 387,069,000 円、調定額 381,655,078 円に対し収入済額 381,706,465 円で、収入率 100%、対前年度比で 3,676,039 円、1.0%の増加となっている。不能欠損額 0 円（対前年度比 100 円減）を計上し収入未済額はない。

１款　後期高齢者医療保険料

調定額 243,743,442 円に対し収入済額 243,794,829 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 3,261,081 円、1.4%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 63.9%である。収入未済額はない。

２款　使用料及び手数料

調定額 18,400 円に対し収入済額 18,400 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,100 円、6.4%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.0%である。

３款　繰入金

調定額 137,646,436 円に対し収入済額 137,646,436 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,317,568 円、1.0%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 36.1%である。

・事務費繰入金　18,141 千円
・保険基盤安定繰入金　119,506 千円

款別歳入決算前年度比較表

（単位：円・％）

令和 2年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調 定 額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥－⑦－⑧	増　減 ③－⑦＝⑨	増減率 ⑨/⑦
252,159,000	240,699,990	240,533,748	95.4	99.9	63.6	100	166,142	3,261,081	1.4
32,000	17,300	17,300	54.1	100.0	0.0	0	0	1,100	6.4
135,561,000	136,328,868	136,328,868	100.6	100.0	36.1	0	0	1,317,568	1.0
960,000	960,610	960,610	100.1	100.0	0.3	0	0	△ 934,510	△ 97.3
529,000	189,900	189,900	35.9	100.0	0.1	0	0	30,800	16.2
389,241,000	378,196,668	378,030,426	97.1	100.0	100.0	100	166,142	3,676,039	1.0

4款　繰越金

調定額 26,100 円に対し収入済額 26,100 円で、収入率 100%、対前年度比で 934,510 円、97.3%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.0%である。

5款　諸収入

調定額 220,700 円に対し収入済額 220,700 円で、収入率 100%、対前年度比で 30,800 円、16.2%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.1%である。

図表１０

区　　分	令和 3年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
総　務　費	1,183,000	1,030,307	87.1	0.3	0	152,693
後期高齢者医療広域連合納付金	385,554,000	376,852,423	97.7	99.7	0	8,701,577
諸　支　出　金	332,000	217,700	65.6	0.1	0	114,300
合　　計	387,069,000	378,100,430	97.7	100.0	0	8,968,570

（２）歳　出

令和３年度歳出決算額は予算現額 387,069,000 円に対して、支出済額 378,100,430 円で、執行率 97.7%、不用額 8,968,570 円となっている。前年度比較において 96,104 円（0.03%）増加している。

人件費を除く主な執行状況は次のとおりである。

1款　総務費

予算現額 1,183,000 円に対して、支出済額 1,030,307 円で、執行率 87.1%、不用額 152,693 円となっている。前年度比較において 68,578 円（6.2%）減少している。

2款　後期高齢者医療広域連合納付金

予算現額 385,554,000 円に対して、支出済額 376,852,423 円で、執行率 97.7%、不用額 8,701,577 円となっている。前年度比較において 199,182 円（0.1%）増加している。

・後期高齢者医療保険料負担金　242,643 千円
・後期高齢者医療保険基盤安定負担金　119,506 千円
・後期高齢者医療広域連合事務費負担金　14,704 千円

3款　諸支出金

予算現額 332,000 円に対して、支出済額 217,700 円で、執行率 65.6%、不用額 114,300 円となっている。前年度比較において 34,500 円（13.7%）減少している。

款別歳出決算前年度比較表

（単位：円・％）

令和 2年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増　減 ②－⑥＝⑨	増減率 ⑨/⑥
1,286,000	1,098,885	85.4	0.3	0	187,115	△ 68,578	△ 6.2
387,330,000	376,653,241	97.2	99.6	0	10,676,759	199,182	0.1
625,000	252,200	40.4	0.1	0	372,800	△ 34,500	△ 13.7
389,241,000	378,004,326	97.1	100.0	0	11,236,674	96,104	0.0

図表６

区分	令和 3年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②－③－④
使用料及び手数料	50,548,000	50,226,120	50,226,120	99.4	100.0	37.2	0	0
繰入金	64,073,000	64,073,000	64,073,000	100.0	100.0	47.4	0	0
繰越金	3,557,000	3,557,966	3,557,966	100.0	100.0	2.6	0	0
財産収入	1,000	0	0	0.0		0.0	0	0
諸収入	16,469,000	17,258,629	17,258,629	104.8	100.0	12.8	0	0
合計	134,648,000	135,115,715	135,115,715	100.3	100.0	100.0	0	0

交通船特別会計

１．決算の概要

令和３年度における決算は、歳入総額 135,115,715 円、歳出総額 128,940,374 円で、歳入歳出差引残額 6,175,341 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 6,175,341 円の黒字となっている。

（１）歳　入

令和３年度歳入決算は予算現額 134,648,000 円、調定額 135,115,715 円に対し収入済額 135,115,715 円で、収入率 100%、対前年度比で 17,449,445 円、14.8%の増加となっている。不能欠損額はない。

1 款　使用料及び手数料

調定額 50,226,120 円に対し収入済額 50,226,120 円で、収入率 100%、対前年度比で 4,704,410 円、8.6%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 37.2%である。

2 款　繰入金

調定額 64,073,000 円に対し収入済額 64,073,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 25,032,000 円、64.1%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 47.4%である。

・一般会計繰入金　64,073 千円

3 款　繰越金

調定額 3,557,966 円に対し収入済額 3,557,966 円で、収入率 100%、対前年度比で 6,541,893 円、64.8%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 2.6%である。

5 款　諸収入

調定額 17,258,629 円に対し収入済額 17,258,629 円で、収入率 100%、対前年度比で 3,663,748 円、26.9%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 12.8%である。

款別歳入決算前年度比較表

（単位：円・％）

令和 2年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調 定 額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥－⑦－⑧	増　減 ③－⑦＝⑨	増減率 ⑨/⑦
55,603,000	54,930,530	54,930,530	98.8	100.0	46.7	0	0	△ 4,704,410	△ 8.6
39,041,000	39,041,000	39,041,000	100.0	100.0	33.2	0	0	25,032,000	64.1
10,099,000	10,099,859	10,099,859	100.0	100.0	8.6	0	0	△ 6,541,893	△ 64.8
1,000	0	0	0.0		0.0	0	0	0	
13,594,000	13,594,881	13,594,881	100.0	100.0	11.6	0	0	3,663,748	26.9
118,338,000	117,666,270	117,666,270	99.4	100.0	100.0	0	0	17,449,445	14.8

図表１０

区　　分	令和 3年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
事　　業　　費	134,148,000	128,940,374	96.1	100.0	0	5,207,626
予　　備　　費	500,000	0	0.0	0.0	0	500,000
合　　計	134,648,000	128,940,374	95.8	100.0	0	5,707,626

（２）歳　出

令和３年度歳出決算額は、予算現額 134,648,000 円に対して、支出済額 128,940,374 円で、執行率 95.8％、不用額 5,707,626 円となっている。前年度比較において 14,832,070 円（13.0％）増加している。

人件費を除く主な執行状況は次のとおりである。

1款　事業費

予算現額 134,148,000 円に対して、支出済額 128,940,374 円で、執行率 96.1％、不用額 5,207,626 円となっている。前年度比較において 14,832,070 円（13.0％）増加している。

・施設修繕費　45,826 千円
・動力費　19,368 千円

款別歳出決算前年度比較表

（単位：円・％）

令和 2年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増　減 ②－⑥＝⑨	増減率 ⑨/⑥
117,838,000	114,108,304	96.8	100.0	0	3,729,696	14,832,070	13.0
500,000	0	0.0	0.0	0	500,000	0	-
118,338,000	114,108,304	96.4	100.0	0	4,229,696	14,832,070	13.0

図表６

区　　分	令和 3年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②－③－④
保　険　料	585,882,000	631,845,332	627,134,132	107.0	99.3	17.0	641,575	4,069,625
使用料及び手数料	130,000	120,000	120,000	92.3	100.0	0.0	0	0
国庫支出金	980,838,000	985,664,031	985,664,031	100.5	100.0	26.7	0	0
支払基金交付金	954,959,000	924,664,000	924,664,000	96.8	100.0	25.1	0	0
県支出金	532,530,000	528,846,356	528,846,356	99.3	100.0	14.3	0	0
財産収入	1,928,000	1,929,209	1,929,209	100.1	100.0	0.1	0	0
繰入金	557,053,000	534,401,625	534,401,625	95.9	100.0	14.5	0	0
繰越金	86,558,000	86,558,272	86,558,272	100.0	100.0	2.3	0	0
諸収入	43,000	90,559	90,559	210.6	100.0	0.0	0	0
合　　計	3,699,921,000	3,694,119,384	3,689,408,184	99.7	99.9	100.0	641,575	4,069,625

介護保険特別会計（保険事業勘定）

１．決算の概要

令和３年度における決算は、歳入総額 3,689,408,184 円、歳出総額 3,587,352,342 円で、歳入歳出差引残額 102,055,842 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 102,055,842 円の黒字となっている。

（１）歳　入

令和３年度歳入決算は、予算現額 3,699,921,000 円、調定額 3,694,119,384 円に対し収入済額 3,689,408,184 円で、収入率 99.9%、対前年度比で 67,515,720 円、1.9%の増加となっている。不能欠損額 641,575 円（対前年度比 58,107 円増）を計上し、収入未済額は 4,069,625 円となっている。

保険料の内訳は、現年度分調定額 626,707,580 円に対し、収入済額 625,529,619 円で収入率 99.8%、滞納繰越分調定額 5,137,752 円に対し、収入済額 1,604,513 円で収入率 31.2%となっている。

款別歳入決算前年度比較表

（単位：円・％）

令和 2年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調 定 額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥－⑦－⑧	増　減 ③－⑦＝⑨	増減率 ⑨/⑦
590,656,000	632,343,227	626,792,457	106.1	99.1	17.3	583,468	4,967,302	341,675	0.1
208,000	176,000	176,000	84.6	100.0	0.0	0	0	△ 56,000	△ 31.8
1,015,840,000	948,519,306	948,519,306	93.4	100.0	26.2	0	0	37,144,725	3.9
973,607,000	924,943,447	924,943,447	95.0	100.0	25.5	0	0	△ 279,447	0.0
539,679,000	520,334,552	520,334,552	96.4	100.0	14.4	0	0	8,511,804	1.6
3,000	3,542	3,542	118.1	100.0	0.0	0	0	1,925,667	54366.7
575,499,000	538,616,054	538,616,054	93.6	100.0	14.9	0	0	△ 4,214,429	△ 0.8
62,327,000	62,327,444	62,327,444	100.0	100.0	1.7	0	0	24,230,828	38.9
5,000	179,662	179,662	3,593.2	100.0	0.0	0	0	△ 89,103	△ 49.6
3,757,824,000	3,627,443,234	3,621,892,464	96.4	99.8	100.0	583,468	4,967,302	67,515,720	1.9

介護保険特別会計（保険事業勘定）

図表１０

区　　分	令和 3年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
総　務　費	48,198,000	42,373,928	87.9	1.2	0	5,824,072
保　険　給　付　費	3,446,976,000	3,352,508,047	97.3	93.5	0	94,467,953
財政安定化基金拠出金	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
地域支援事業費	120,279,000	108,763,655	90.4	3.0	0	11,515,345
保健福祉事業費	1,438,000	892,656	62.1	0.0	0	545,344
基　金　積　立　金	38,269,000	38,263,209	100.0	1.1	0	5,791
公　債　費	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
諸　支　出　金	44,759,000	44,550,847	99.5	1.2	0	208,153
合　計	3,699,921,000	3,587,352,342	97.0	100.0	0	112,568,658

（２）歳　出

令和３年度歳出決算額は、予算現額 3,699,921,000 円に対して、支出済額 3,587,352,342 円で、執行率 97.0%、不用額 112,568,658 円となっている。前年度比較において 52,018,150 円（1.5%）増加している。

人件費を除く主な執行状況は次のとおりである。

1款　総務費

予算現額 48,198,000 円に対して、支出済額 42,373,928 円で、執行率 87.9%、不用額 5,824,072 円となっている。前年度比較において 12,880,372 円（23.3%）減少している。

・認定調査事業　26,440 千円

2 款　保険給付費

予算現額 3,446,976,000 円に対して、支出済額 3,352,508,047 円で、執行率 97.3%、不用額 94,467,953 円となっている。前年度比較において 63,280,587 円（1.9%）増加している。

・施設介護サービス給付費　1,463,596 千円
・居宅介護サービス給付費　734,784 千円
・地域密着型介護サービス給付費　662,172 千円

3 款　財政安定化基金拠出金

予算現額 1,000 円に対して支出額 0 円で不用額 1,000 円となっている。

款別歳出決算前年度比較表

（単位：円・％）

令和 2年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増　減 ②－⑥＝⑨	増減率 ⑨/⑥
63,510,000	55,254,300	87.0	1.6	0	8,255,700	△ 12,880,372	△ 23.3
3,481,165,000	3,289,227,460	94.5	93.0	0	191,937,540	63,280,587	1.9
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	0	－
134,275,000	112,264,874	83.6	3.2	0	22,010,126	△ 3,501,219	△ 3.1
						892,656	－
63,448,000	63,447,542	100.0	1.8	0	458	△ 25,184,333	△ 39.7
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	0	－
15,424,000	15,140,016	98.2	0.4	0	283,984	29,410,831	194.3
3,757,824,000	3,535,334,192	94.1	100.0	0	222,489,808	52,018,150	1.5

4款　地域支援事業費

予算現額 120,279,000 円に対して、支出済額 108,763,655 円で、執行率 90.4%、不用額 11,515,345 円となっている。前年度比較において 3,501,219 円（3.1%）減少している。

・第１号通所事業　40,371 千円
・生活支援コーディネート事業　5,253 千円
・認知症初期集中支援事業　3,415 千円

5款　保健福祉事業費

予算現額 1,438,000 円に対して、支出済額 892,656 円で、執行率 62.1%、不用額 545,344 円となっている。

6款　基金積立金

予算現額 38,269,000 円に対して、支出済額 38,263,209 円で、執行率 100.0%、不用額 5,791 円となっている。前年度比較において 25,184,333 円（39.7%）減少している。

8款　諸支出金

予算現額 44,759,000 円に対して、支出済額 44,550,847 円で、執行率 99.5%、不用額 208,153 円となっている。前年度比較において 29,410,831 円（194.3%）増加している。

・国県等負担金補助金返還金　42,296 千円

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

図表６

区　　分	令和 3年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②－③－④
サ ー ビ ス 収 入	17,131,000	17,922,130	17,922,130	104.6	100.0	84.7	0	0
繰　　越　　金	3,225,000	3,225,070	3,225,070	100.0	100.0	15.3	0	0
合　　計	20,356,000	21,147,200	21,147,200	103.9	100.0	100.0	0	0

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

１．決算の概要

令和３年度における決算は、歳入総額 21,147,200 円、歳出総額 19,001,672 円で、歳入歳出差引残額 2,145,528 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 2,145,528 円の黒字となっている。

（１）歳　入

令和３年度歳入決算は、予算現額 20,356,000 円、調定額 21,147,200 円に対し収入済額 21,147,200 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,304,146 円、5.8%の減少となっている。不能欠損額はない。

款別歳入決算前年度比較表

（単位：円・％）

令和 2年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調 定 額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥－⑦－⑧	増　減 ③－⑦＝⑨	増減率 ⑨/⑦
17,790,000	18,091,210	18,091,210	101.7	100.0	80.6	0	0	△ 169,080	△ 0.9
4,360,000	4,360,136	4,360,136	100.0	100.0	19.4	0	0	△ 1,135,066	△ 26.0
22,150,000	22,451,346	22,451,346	101.4	100.0	100.0	0	0	△ 1,304,146	△ 5.8

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

図表１０

区　　分	令和 3年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
総　　務　　費	1,823,000	1,412,247	77.5	7.4	0	410,753
事　　業　　費	18,533,000	17,589,425	94.9	92.6	0	943,575
合　　計	20,356,000	19,001,672	93.3	100.0	0	1,354,328

（２）歳　出

令和３年度歳出決算額は予算現額 20,356,000 円に対して、支出済額 19,001,672 円で、執行率 93.3%、不用額 1,354,328 円となっている。前年度比較において 224,604 円（1.2%）減少している。

人件費を除く主な執行状況は次のとおりである。

１款　総務費

予算現額 1,823,000 円に対して、支出済額 1,412,247 円で、執行率 77.5%、不用額 410,753 円となっている。前年度比較において 408,678 円（22.4%）減少している。

・一般管理費　1,412 千円

２款　事業費

予算現額 18,533,000 円に対して、支出済額 17,589,425 円で、執行率 94.9%、不用額 943,575 円となっている。前年度比較において 184,074 円（1.1%）増加している。

・介護予防ケアマネジメント事業　17,589 千円

款別歳出決算前年度比較表

（単位：円・％）

令和 2年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増　減 ②－⑥＝⑨	増減率 ⑨/⑥
2,844,000	1,820,925	64.0	9.5	0	1,023,075	△ 408,678	△ 22.4
19,306,000	17,405,351	90.2	90.5	0	1,900,649	184,074	1.1
22,150,000	19,226,276	86.8	100.0	0	2,923,724	△ 224,604	△ 1.2

図表６

区　　分	令和 3年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②－③－④
県　支　出　金	24,443,000	24,443,000	24,443,000	100.0	100.0	4.8	0	0
繰　　入　　金	66,138,000	66,138,000	66,138,000	100.0	100.0	12.9	0	0
繰　　越　　金	104,503,000	104,503,123	104,503,123	100.0	100.0	20.3	0	0
市　　債	438,700,000	318,700,000	318,700,000	72.6	100.0	62.0	0	0
合　　計	633,784,000	513,784,123	513,784,123	81.1	100.0	100.0	0	0

工業団地整備事業特別会計

１．決算の概要

令和３年度における決算は、歳入総額 513,784,123 円、歳出総額 463,560,418 円で、歳入歳出差引残額 50,223,705 円、翌年度へ繰越すべき財源 50,222,000 円で、実質収支額は 1,705 円の黒字となっている。

（１）歳　入

令和３年度歳入決算は、予算現額 633,784,000 円、調定額 513,784,123 円に対し収入済額 513,784,123 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,316,320,815 円、71.9%の減少となっている。不能欠損額はない。

減少の主な要因は、大島地区工業団地整備事業の進捗に伴う事業費の減によるものである。

1 款　県支出金

調定額 24,443,000 円に対し収入済額 24,443,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 262,602,000 円、91.5%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 4.8%である。

2 款　繰入金

調定額 66,138,000 円に対し収入済額 66,138,000 円で、収入率 100%、対前年度　比で 189,417,000 円、74.1%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 12.9%である。

3 款　繰越金

調定額 104,503,123 円に対し収入済額 104,503,123 円で、収入率 100%、対前年度比で 43,301,815 円 29.3%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 20.3%である。

4 款　市債

調定額 318,700,000 円に対し収入済額 318,700,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 821,000,000 円、72.0%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 62.0%である。

款別歳入決算前年度比較表

（単位：円・％）

令和 2年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調 定 額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥－⑦－⑧	増 減 ③－⑦＝⑨	増減率 ⑨/⑦
287,045,000	287,045,000	287,045,000	100.0	100.0	15.7	0	0	△ 262,602,000	△ 91.5
255,555,000	255,555,000	255,555,000	100.0	100.0	14.0	0	0	△ 189,417,000	△ 74.1
147,804,000	147,804,938	147,804,938	100.0	100.0	8.1	0	0	△ 43,301,815	△ 29.3
1,388,200,000	1,139,700,000	1,139,700,000	82.1	100.0	62.3	0	0	△ 821,000,000	△ 72.0
2,078,604,000	1,830,104,938	1,830,104,938	88.0	100.0	100.0	0	0	△ 1,316,320,815	△ 71.9

図表１０

区　　分	令和 3年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
事　　業　　費	623,466,000	453,242,822	72.7	97.8	170,222,000	1,178
公　　債　　費	10,318,000	10,317,596	100.0	2.2	0	404
合　　計	633,784,000	463,560,418	73.1	100.0	170,222,000	1,582

（２）歳　出

令和３年度歳出決算額は予算現額 633,784,000 円に対して、支出済額 463,560,418 円で、翌年度繰越額 170,222,000 円を計上し、執行率 73.1%、不用額 1,582 円となっている。前年度比較において 1,262,041,397 円（73.1%）減少している。

減少の主な要因は、大島地区工業団地整備事業の進捗に伴う事業費の減によるものである。

主な執行状況は次のとおりである。

1 款　事業費

予算現額 623,466,000 円に対して、支出済額 453,242,822 円で、執行率 72.7%、翌年度繰越額 170,222,000 円を計上し、不用額 1,178 円となっている。前年度比較において 1,264,621,748 円（73.6%）減少している。

・大島地区工業団地整備事業　100,235 千円
・大島地区工業団地整備事業（繰越分）　353,000 千円

翌年度繰越額　170,222 千円の内訳は次のとおりである。

・大島地区工業団地整備事業　170,222 千円

2 款　公債費

予算現額 10,318,000 円に対して、支出済額 10,317,596 円で、執行率 100.0%、不用額 404 円となっている。前年度比較において 2,580,351 円（33.3%）増加している。

・市債償還元金　3,938 千円
・市債償還利子　6,380 千円

款別歳出決算前年度比較表

（単位：円・％）

令和 2年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増　減 ②－⑥＝⑨	増減率 ⑨/⑥
2,070,866,000	1,717,864,570	83.0	99.6	353,000,000	1,430	△ 1,264,621,748	△ 73.6
7,738,000	7,737,245	100.0	0.4	0	755	2,580,351	33.3
2,078,604,000	1,725,601,815	83.0	100.0	353,000,000	2,185	△ 1,262,041,397	△ 73.1

財産に関する調書

財産に関する調書

各会計における公有財産、有価証券、物品、債権及び基金に関する決算年度中における増減高並びに令和３年度末現在高は、次のとおりである。

一般会計

１．公有財産

（１）土地及び建物

土地は前年度と比較して 15,057 ㎡増加し、24,164,800 ㎡となっている。

建物の総面積は、前年度と比較して 1,582 ㎡減少し、314,494 ㎡となっている。

（２）山林

山林面積は、本年度中の増減はなく、19,271,673 ㎡となっている。

立木については、年度中 4,556 ㎥の減少により、年度末で 252,678 ㎥の推定量となっている。

（３）動産

動産については、本年度中の増減はなく、船舶 15 総トン、浮桟橋 6 個である。

（４）有価証券

有価証券については、年度中の増減はなく、崎戸商船株式会社他４社の株券で、本年度末現在高は、85,726,000 円である。

（５）出資による権利

令和３年度の出資金は、1,087,946 円減少し、本年度末出資残高は、財団法人長崎県国際交流協会他 17 先で 317,468,092 円となっている。

２．物品

庁用車両については、前年度と比較して 84 台減少し、年度末の車両保有高は、165 台である。

３．債権

債権は、年度中に 8,289,800 円減少し、年度末貸付現在高は 204,376,696 円となっている。

４．基金

財政調整基金等について、関係諸帳簿と照合した結果、調書の記載事項に誤りは認められなかった。

各基金の明細及び令和３年度末の現在高は次のとおりである。

基金現在高表

（単位：円）

区　　分	２年度末現在高	３年度中増減額（債権を含む）	３年度末現在高
財政調整基金	3,262,003,000	△ 323,556,000	2,938,447,000
減債基金	295,385,000	741,435,000	1,036,820,000
地域振興基金	5,046,305,000	△ 28,804,000	5,017,501,000
社会福祉基金	2,005,517,035	61,611,000	2,067,128,035
災害弔慰金等基金	22,837,506	△ 1,449,581	21,387,925
生活環境整備基金	5,382,010	91	5,382,101
ふるさと水と土保全対策基金	124,212,206	△ 1,888,000	122,324,206
農業振興基金	208,060,235	△ 21,820,000	186,240,235
漁業振興基金	201,287,000	△ 1,843,000	199,444,000
商工観光振興基金	50,385,765	0	50,385,765
公共住宅整備基金	14,098,127	1,205,194	15,303,321
合併市町村振興基金	2,889,754,000	0	2,889,754,000
教育振興基金	7,206,095	1,797,039	9,003,134
奨学資金貸付基金	100,000,000	0	100,000,000
ふるさと西海応援寄附金基金	316,250,000	225,852,000	542,102,000
西海市過疎地域自立促進基金	199,178,000	39,013,000	238,191,000
西海市公共交通整備基金	9,303,835	23,636,372	32,940,207
子ども夢基金	511,411,755	3,914,065	515,325,820
防衛施設周辺公園管理基金	17,135,347	△ 2,999,315	14,136,032
西海市西海地区スクールバス運行事業基金	42,606,371	△ 2,568,296	40,038,075
青少年スポーツ振興基金	403,109,543	△ 31,367,405	371,742,138
林業振興基金	11,100,000	△ 56,912	11,043,088
防衛施設周辺自治会運営支援事業基金	6,020,723	1,266,240	7,286,963
土地開発基金	284,894,306	300,518	285,194,824
計	16,033,442,859	683,678,010	16,717,120,869

貸付基金

（単位：円）

区　　分	２年度末現在高	３年度中増減額（債権を含む）	３年度末現在高
奨学資金貸付基金(基金の額)	100,000,000	0	100,000,000
備　　考	貸付額 57,064,000円　現金残額 42,936,000円		

（単位：円）

寄附金

（単位：円）

区　　分	２年度末現在高	３年度中増減額（債権を含む）	３年度末現在高
ふるさと西海応援寄附金基金(基金の額)	316,250,000	225,852,000	542,102,000
計	316,250,000	225,852,000	542,102,000

土地開発基金

（単位：円・㎡）

区　　分			２年度末現在高	３年度中増減額（債権を含む）	３年度末現在高
不動産	土地	宅　地	22,246.20㎡	0.00㎡	22,246.20㎡
		田　畑	15,526.00㎡	0.00㎡	15,526.00㎡
		山　林	494,542.00㎡	0.00㎡	494,542.00㎡
		その他	26,999.00㎡	0.00㎡	26,999.00㎡
土地開発基金(預金・債権)			284,894,306	300,518	285,194,824

国民健康保険特別会計（事業勘定）

１．基金

基金現在高表

（単位：円）

区　　分	２年度末現在高	３年度中増減額（債権を含む）	３年度末現在高
国民健康保険財政調整基金	344,700,000	52,878,000	397,578,000
国民健康保険出産費資金貸付基金（基金の額）	4,000,000	0	4,000,000
国民健康保険高額療養費貸付基金（基金の額）	15,000,000	0	15,000,000
計	363,700,000	52,878,000	416,578,000

貸付基金

（単位：円）

区　　分	２年度末現在高	３年度中増減額（債権を含む）	３年度末現在高
国民健康保険出産費資金貸付基金（基金の額）	4,000,000	0	4,000,000
備　　考	貸付額　0円	現金残額	4,000,000円

（単位：円）

区　　分	２年度末現在高	３年度中増減額（債権を含む）	３年度末現在高
国民健康保険高額療養費貸付基金（基金の額）	15,000,000	0	15,000,000
備　　考	貸付額　435,431円	現金残額	14,564,569円

国民健康保険特別会計（直診勘定）

１．公有財産

（１）土地及び建物

土地は、前年度と比較して 69.49 ㎡増加し、2,182.22 ㎡となっている。

建物については、前年度と比較して 154.24 ㎡増加し、1,007.15 ㎡となっている。

２．物品

物品については、松島診療所所管分のデキストロメーターが 1 台増加となり、心電計、自動現像機、血圧監視装置、超音波踵骨測定装置が各 1 台ずつ減少している。

交通船特別会計

１．公有財産

（１）動産

動産は、本年度中の増減はなく、船舶１隻（99 総トン）である。

（２）無体財産権

無体財産権は、本年度中の増減はなく、航路権１件である。

２．基金

基金現在高表

（単位：円）

区　　分	２年度末現在高	３年度中増減額（債権を含む）	３年度末現在高
交通船整備基金	2,054	0	2,054
計	2,054	0	2,054

介護保険特別会計（保険事業勘定）

１．基金

基金現在高表

（単位：円）

区　　分	２年度末現在高	３年度中増減額（債権を含む）	３年度末現在高
介護給付費準備基金	424,796,943	38,263,209	463,060,152
計	424,796,943	38,263,209	463,060,152

２．物品

物品については、本年度中の５台減少し、年度末の車両保有高は、０台となっている。

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

１．物品

物品については、本年度中の増減はない。

工業団地整備事業特別会計

１．公有財産

（１）土地及び建物

土地は前年度と比較して 1,149 ㎡増加し、119,608.81 ㎡となっている。

（２）動産（行政財産）

動産は、本年度中の増減はなく、配水管（ＨＩＶＰφ150）が 179.6m、配水管（ＨＩＶＰφ100）が 251.6m、配水管（ＨＩＶＰφ75）が 240.3m、給水管（ＨＰＰφ50）が 122.3m、給水管（ＨＰＰφ25）が 17.5m となっている。

む　す　び

む　す　び

令和３年度の地方財政の規模は 89 兆 8,060 億円（前年度比 1.0%、9,337 億円減）となっており、歳出のうち公債費を除いた地方の政策的経費である地方一般歳出は 75 兆 4,043 億円（前年度比 0.6%、4,437 億円減）となっている。

歳入では、地方税が 38 兆 802 億円（前年度比 7.0%、2 兆 8,564 億円減）、地方譲与税が 1 兆 8,219 億円（前年度比 30.2%、7,867 億円減）、地方特例交付金が 3,577 億円（前年度比 78.2%、1,570 億円増）となっている。

また、地方交付税が 17 兆 4,385 億円（前年度比 5.1%、8,503 億円増）、地方債が 11 兆 2,407 億円（前年度比 21.2%、1 兆 9,624 億円増）となっている。

この結果、地方一般財源総額は、61 兆 9,932 億円（前年度比 2.3%、1 兆 4,386 億円減）となっている。

歳出では、一般行政経費が 40 兆 8,824 億円（前年度比 1.3%、5,107 億円増）となっており、公債費が 11 兆 7,799 億円（前年度比 0.7%、820 億円減）となっている。

投資的経費は、直轄・補助事業が 5 兆 7,136 億円（前年度比 14.1%、9,341 億円減）、地方単独事業が 6 兆 2,137 億円（前年度比 1.6%、1,000 億円増）で、総額 11 兆 9,273 億円となっている。

このような財政状況にありながら、多くの自治体において引き続き人口減少への対応や超高齢化社会への対応に加え、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じていく必要が生じている。

また、普通交付税でも令和２年度で市町村合併による合併特例算定が終了し令和３年度から一本算定となったことから、更に厳しい財政運営が求められている。

本市でも、引き続き新型コロナウイルス感染症対策経費を支出しており、この新型コロナウイルス感染症対策は本市の財政状況に一定の影響を与えたが、市民の安心で安全な生活の維持を図るうえでは必要なものであった。

一方で、平成 29 年度を初年度とする「第２次西海市総合計画」に人口減少の克服、雇用創出、定住促進、産業振興、教育の充実等の各目標を掲げ、これらの目標実現に向け、「地場産業育成と地域力の強化」、「教育施策の重点化」、「市民目線の行政と福祉政策」、「未来につながる農林水産業・商業観光業」、「子育て支援・女性の社会参画」「定住環境、高速ネットワーク整備」、「しまの暮らし支援」という 7 つのテーマを主要政策課題として引き続き各種事業に取り組んだ。

以上を踏まえ、令和３年度決算審査を実施した

令和３年度一般会計の決算額は、歳入 26,157,433,407 円、歳出 24,706,421,236 円で歳入歳出差引残額 1,451,012,171 円、翌年度へ繰越すべき財源 268,610,000 円を差し引いた実質収支額は 1,182,402,171 円の黒字となっている。前年度と比べ、歳入については、2,487,411,027 円、8.7%減となり、歳出については、2,759,558,078 円、10.0%減となっている。

歳入の款別で主なものについて、歳入の 11.8%を占める市税は、前年度比 53,115 千円、1.7%減となっている。これは、家屋の評価替えに伴う固定資産税の減少が主な要因である。

歳入の 34.0%を占める地方交付税は、前年度比 200,083 千円、2.3%増となっている。これは、国の税収の増加などにより交付税の再算定が行われたことや新たな需要の費目が追加されたことによるものである。

国庫支出金は前年度比 1,652,902 千円、27.3%減となっている。これは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特別給付金の財源とした国庫支出金の減額によるものである。

寄付金はふるさと西海応援寄附金の増加により、前年度比 385,800 千円、80.1%増となった。

諸収入は令和 2 年度に貸付金の繰上償還があったことで、前年度比 342,588 千円、53.9%減となった。

市債は、令和 2 年度に実施した市立認定こども園施設整備事業などの大型事業が完了したことにより、前年度比 1,138,400 千円、35.2%減となった。

歳出の款別で主なものについて、総務費は、前年度比 2,193,623 千円、27.8%減となった。減少の主なものは令和２年度に国策で行った市民全体への特別給付金である。

民生費は、前年度比 379,085 千円、5.5%増となった。増加の主なものは、国策として子育て世帯臨時特別給付事業や住民税非課税世帯等特別臨時特別給付事業を実施したことである。

衛生費は、前年度比 390,220 千円、14.2%増となった。増加の主なものは、新型コロナウイルスワクチン接種を実施したことである。

農林水産業費は、前年度比 391,470 千円、38.4%減となった。減少の主なものは、令和２年度に畜産クラスター構築事業や農業振興基金などに積立を行ったことである。

商工費は、前年度度比 236,194 千円、26.6%減となった。減少の主なものは、市内事業者緊急応援給付金事業や西海市プレミアム付商品券発行支援事業である。

土木費は、前年度比 639,909 千円、36.4%減となった。減少の主なものは、定住促進住宅整備事業や分譲宅地整備事業である。

消防費は、前年度比 246,706 千円、26.8%減となった。減少の主なものは、防災行政無線デジタル化整備事業である。

教育費は、前年度比 27,488 千円、1.3%減となった。減少の主なものは、市内各小中学校施設の改修事業の進捗などによるものである。

公債費は、前年度比 15,929 千円、0.5%減となった。減少の主なものは、繰り返し行ってきた繰上償還の効果や前年度の繰上償還額 985,566 千円に対し、本年度が 958,578 千円となったことによる。

特別会計７事業の決算総額は歳入 8,673,750,539 円、歳出 8,418,953,023 円で歳入歳出差引額の総額は 254,797,516 円で、翌年度に繰越すべき財源 50,222,000 円を差し引いた実質収支額は 204,575,516 円となっている。

今回の決算審査では、各課で実施している事業全般に加え、成果説明書等に記載された事業の中から、特に重要と思われる事業を対象として、適正な事務が行われているかについて集中的に審査を行った。

以下の点を指摘事項とする。

(1) 財政運営について

令和３年度の一般会計において、減債基金 858,579 千円が取り崩され市債の繰上償還に充てられている。

繰上償還等により期末市債残高は 19,801,527 千円となり、前年度末に比べ 814,915 千円、4.0%減少している。

「財政規模のうちどれぐらいの割合の一般財源が公債費に充てられたか」をあらわす実質公債費比率（小さいほど好ましい）は前年度の△2.8%から△1.8%となっている。

「財政運営の弾力性（余裕度）」をあらわす経常収支比率（小さいほど好ましい）は前年度 83.6%に対して 83.9%となっている。

年度末の基金残高は、前年度末に比べ 683,377 千円、4.3%増加し 16,431,927 千円となっており臨時的な財政需要に対する余裕度は、総合的にかなり高いと言える。

これらの良好な指標は、合併以来、財源確保と効率的な事業の執行による歳出削減に努め、さらに繰上償還により市債残高の圧縮を進めてきたこれまでの財政運営が成果を上げているものと判断される。

本市においては、普通交付税が一本算定化となったことに加え、道路橋梁や上下水道を始めとする各種インフラの整備・更新を控え、公共施設も多数有することから、今後も多額の支出が見込まれるところである。

また、財政運営が、国の財源に依存している状況であることに変わりはなく、今後も、これまで同様、効率的な財政運営に努められたい。

(2) 予算の執行

本年度も、新型コロナウイルス感染症対策を最優先に実施しながらも市民のニーズに応えるため７つの政策課題を柱として様々な事業が実施された。

「再生可能エネルギー普及推進事業」では、江島沖洋上風力発電の促進区域指定に向けた取組みや松島火力発電所の存続に向けた国への要望活動を引き続き行った。

その結果、西海市江島沖の海域が「再エネ海域利用法」に基づく洋上風力発電の促進区域の指定に向けた「有望な区域」に選定された。

また、電源開発株式会社から松島火力発電所に石炭ガス化技術を活用したシステムを導入しようとする「GENESIS 松島計画」が発表された。

「子育て世帯臨時特別給付事業」や「低所得子育て世帯生活支援特別給付事業」では、コロナ禍における子育て世代への支援を国策として実施した。

「新型コロナウイルス予防接種事業」では、市内医療機関の協力を受け、集団接種だけでなく個別接種も実施した。

また、離島接種や高齢者等施設接種も実施したことにより、ワクチン接種率が国・県よりも高くなっている。

「未来につなぐ西海の森づくり事業」では、市有林の伐採を行い 15 年～20 年で伐採収穫できる早生樹のセンダンを試験植栽したほか、保育間伐を実施したことにより林内環境が改善され森林保全が図られた。

災害復旧費では令和３年８月の豪雨による道路、農地、農業用施設、林道などの復旧工事を実施した。

(3) コンプライアンスの徹底

令和３年度において、ふるさと納税ワンストップ特例に関する事務遺漏事案及び職員による西海ふるさと便不正利用事案が発生した。

このような事案は相手方や市に経済的な損害を与えるだけでなく、公務の信用を大きく失墜させるものであり厳に慎むべきである。

コンプライアンス研修等により職員教育を行い服務規律の徹底を図り、信頼回復のため再発防止に全力を尽くされたい。

(4) 企業誘致と地場産業の育成

平成 29 年度を初年度とする第 2 次西海市総合計画において、まちづくりの基本目標として「さいかいで活躍できるしごとづくり」が掲げられ、新規事業の起業促進や市外優良企業の誘致に力を入れるとともに、ブランド化、高付加価値化などの手法を活用し、高い収益性と安定性を備えた地場産業を育成することとしている。

大島地区工業団地については、令和４年度の完成に向け造成工事が進められ、企業立地による新たな雇用について大きな期待が寄せられていることから大島地区工業団地造成及び造船関連企業の誘致の実現に向けた事業実施を期待する。

また、工業団地「パールテクノ西海」への企業誘致についても、引き続き長崎県産業振興財団などの関係機関との連携を図り早期誘致に努められたい。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、健全化判断比率及びその算定の基礎となる書類の審査を行ったところ、実質赤字比率及び連結実質赤字比率と将来負担比率はともに無く、実質公債費比率は△1.8%（前年度△2.8%）であり、経常収支比率も 83.9%（前年度 83.6%）と良好な数値であり、合併以来の財政健全化への取り組みが功を奏したものと言えよう。

財政状況の推移（決算統計による）

（単位：千円）

区　　分	３年度	２年度	元年度	30年度	29年度
実質公債費比率	△ 1.8 %	△ 2.8 %	△ 2.1 %	△ 1.4 %	△ 0.6 %
公債費比率	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %
債務負担行為を含む公債費比率	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %
起債制限比率	－ %	－ %	－ %	－ %	－ %
基金現在高	16,431,927	15,748,550	15,701,566	16,071,709	15,917,232
地方債現在高	19,801,527	20,616,442	20,341,163	20,047,426	20,220,473
財政力指数	0.29	0.29	0.30	0.31	0.32
経常収支比率	83.9 %	83.6 %	87.7 %	84.8 %	83.1 %
実質収支比率	9.54 %	6.79 %	8.52 %	7.01 %	6.93 %

※基金現在高は土地開発基金を除く

しかし一方で、自治体の財政的な自立度を表す財政力指数を見ると、平成 29 年度以降低下している。

これは自主財源の要である税収の減少に起因するものであり、自主財源減不足を改善するためには市税の増収に繋がるような政策の展開が不可欠となる。

平成 29 年度を計画初年度とする「第 2 次西海市総合計画」においては、市民意識調査の結果を踏まえ「雇用環境の充実」を最重要課題としており、安定した企業の存在や整備されつつある工業団地、豊かな自然環境などの西海市の「大きな強み」を最大限に活用しながら、人口減少を克服することに重点を置いている。

本年度においては、大島工業団地の造成が進められたほか、「市営住宅建設事業」により定住促進が図られている。

また、「さいかい光の道構想補助事業」については、令和３年度をもって西海市全域で光ファイバを用いた超高速ブロードバンド環境の整備が完了した。

これにより都市部との情報格差是正が見込まれ、市民の住環境整備も図られた。

教育環境については、新たな小学校の開校に向けた施設整備などが行われたほか、新型コロナウイルス感染の防止及び教育環境の改善を図るため、音楽室や多目的教室に空調設備と換気設備が整備され安心して学べる教育環境の構築が図られた。

令和３年度も新型コロナウイルス感染症対策を優先的に実施しなければならなかったところであるが、一部の不適性事案はあったものの通常業務の遂行や事業の推進に大きな支障が生じなかったのは、職員が使命感に燃え業務に臨んだ結果といえる。

今後も職員一人ひとりが変わらぬ姿勢で業務に取り組んでもらいたい。

最後に、今回の決算審査で指摘した項目については、常に留意され今後の業務に生かされるよう要望し決算審査の結びとする。